

Compass セットアップマニュアル Windows 10 用

2026年2月9日版

■ 試験関係者向け資料 ■ 株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ

会場 ID :

目次

1.	はじめに.....	1
1.1.	お問合せ窓口.....	1
1.2.	Web サイトについて.....	1
2.	Compass について	2
2.1.	Compass で実施可能な試験	2
2.2.	Compass と共存可能な試験	2
2.3.	Compass セットアップファイルの入手、バージョン確認方法	2
2.4.	必要システム構成	3
2.4.1.	MOS、IC3 など (ACPro CC 以外)	3
2.4.2.	ACPro CC	4
3.	試験環境の構築	5
3.1.	試験専用環境の構築	5
3.2.	プロキシ、ファイアウォール利用時の注意点	6
3.3.	試験マシンのセットアップの流れ.....	7
4.	Windows 10 の設定.....	8
4.1.	使用可能なエディション、バージョン	8
4.2.	Windows 10 のインストール.....	8
4.3.	試験マシン用環境設定	9
4.3.1.	試験用ユーザーアカウントの作成	9
4.3.2.	自動更新の無効化 (グループポリシーの設定)	12
4.3.3.	Windows Update サービスの停止.....	13
4.3.4.	セキュリティに関するメッセージの設定	14
4.3.5.	コンピューター名とワークグループの設定	14
4.3.6.	ドキュメント フォルダーの場所の設定.....	15
4.3.7.	電源オプションの設定	15
4.3.8.	日付と時刻の設定	16
4.3.9.	システム音量の設定	16
4.3.10.	拡張子の表示	17
4.3.11.	通知とアクションの設定	17
4.3.12.	ディスプレイの設定.....	18
4.3.13.	プリンターの設定.....	18
4.3.14.	Xbox Game Bar の無効化.....	19
4.3.15.	3D Objects フォルダーの作成 (2016・2019 のみ)	19
5.	Office アプリケーションの設定.....	20
5.1.	Office アプリケーションのインストール時の注意点.....	20
5.2.	使用可能な Office 製品	20
5.3.	Microsoft 365 の設定	21
5.3.1.	Microsoft 365 のバージョン確認	21
5.3.2.	データの保存先、ユーザー名の確認 (365 共通)	23
5.4.	Office 2019 の設定	24
5.4.1.	Office 2019 のバージョン確認	24
5.4.2.	データの保存先、ユーザー名の確認 (2019 共通)	26
5.4.3.	Outlook 2019 の設定 (2019 共通)	27
5.5.	Office 2016 の設定	29
5.5.1.	Office 2016 インストール形式の確認.....	29
5.5.2.	データの保存先、ユーザー名の確認 (2016 共通)	34
5.5.3.	Outlook 2016 の設定 (2016 共通)	35
6.	Adobe アプリケーションの設定(ACPro CC のみ).....	36
6.1.	アプリケーションのインストール.....	36
6.2.	環境設定	37
7.	その他の設定	38
7.1.	不要なソフトウェア・ツールの削除、COM アドイン解除	38
7.2.	既定のプログラムの設定	39

7.3.	IME ツールバーの設定.....	40
7.3.1.	IME ツールバーをタスクバーに固定する設定	40
7.3.2.	画面中央に IME 入力モード切替の通知を表示する.....	41
7.3.3.	予測入力を無効にする設定.....	42
7.4.	Adobe Acrobat Reader の設定	43
7.4.1.	Adobe Acrobat Reader のインストール.....	43
7.4.2.	Adobe Acrobat Reader の設定	43
7.5.	Google Chrome の設定.....	44
7.6.	Microsoft Edge の設定.....	45
7.7.	Microsoft .NET Framework の確認.....	46
7.8.	OneDrive のリンク解除.....	46
7.9.	標準設定バッチファイル作成	47
8.	Compass の設定	48
8.1.	Compass のセットアップの流れ.....	48
8.2.	Compass のインストール	49
8.3.	試験環境の準備.....	49
8.3.1.	初期設定（試験会場と更新のタイミングの設定）	49
8.3.2.	アップデートの適用	50
8.3.3.	試験のダウンロード	51
8.4.	リハーサル試験の実施（MOS のみ）	54
8.5.	試験会場の変更.....	55
8.6.	IC3 GS5 の事前確認	56
8.6.1.	付属のソフトウェアのインストール確認	56
8.6.2.	付属ソフトウェアの再インストール	56
8.7.	更新ファイルのインポートとエクスポート	57
8.7.1.	更新ファイルのエクスポート（1 台目マスター用の準備）	57
8.7.2.	更新ファイルのインポート（2 台目以降のマシン）	58
8.8.	その他の項目について	60
8.8.1.	About compass.....	60
8.8.2.	システムチェック	60
8.9.	Compass のアンインストール	62
9.	設定チェックリスト	64
9.1.	必要システム構成.....	64
9.1.1.	MOS、IC3 など（ACPro CC 以外）	64
9.1.2.	ACPro CC.....	65
9.2.	Windows 10 の設定	66
9.3.	Office アプリケーションの設定	67
9.4.	Adobe Creative Cloud の設定	67
9.5.	その他の設定.....	68
9.6.	Compass の設定.....	68

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Reader は、米国 Adobe の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 株式会社オデッセイ コミュニケーションズの承諾を得ずに、本マニュアルの一部または全部を弊社契約試験会場で使用する以外に無断で転載・複製することを禁止します。
- 本マニュアルでは便宜上 IT Specialist を ITS、Microsoft Certified Fundamentals 試験を MSFUND、アドビ認定プロフェッショナルを ACPro、Critical Career Skills を CCS、PMI Project Management Ready を PMI と省略しますが、ホームページや配布資料に記述する際は省略表記できませんのでご注意ください。
- 本マニュアルの情報は、2026 年 2 月 9 日現在のものです。最新情報は、会場サポートサイトをご確認ください。

改版履歴	
2025/11/06	Microsoft Edge の設定変更に伴い更新。
2026/02/09	Critical Career Skills、 PMI Project Management Ready リリースに伴い更新。

1. はじめに

このマニュアルは、Certiport 社の試験配信システム「Compass」（コンパス）のセットアップマニュアルです。**Windows 10 マシンで MOS 等実施の試験環境を構築する場合は、必ずこのマニュアルに従ってセットアップを行ってください。**

1.1. お問い合わせ窓口

- インストールでトラブルなどが発生した場合は、以下のサポート窓口までお問い合わせください。
- 受付時間中は、詳細をお伺いしますので、電話にてご連絡をお願いします。

試験会場		受験者専用
電話番号	受験者に案内禁止！ 0120-350-912	各公式サイトのお問合せフォームをご案内ください。
Eメール	atc@odyssey-com.co.jp	mail@odyssey-com.co.jp
受付時間	技術サポート	平日 10:00～17:30 (土日・祝日を除く)
	事務手続き	
サポート内容	<ul style="list-style-type: none"> 試験環境の構築 試験中のトラブル 試験の申込 	<ul style="list-style-type: none"> 契約内容の追加、変更 入金状況の確認

*緊急性の高い案件（試験トラブル・マシントラブル・申込間違い等）は、原則お電話でご連絡ください。
*お問い合わせの際は会場 ID をお知らせください。

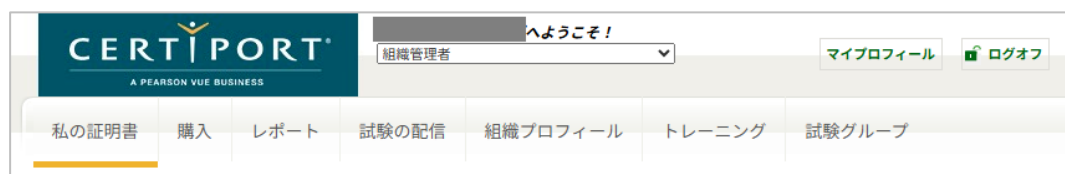
1.2. Web サイトについて

- 試験管理サイト（会場サポートサイト） <https://ocisupport.odyssey-com.co.jp/>
 - 試験管理、試験会場向けの各種情報、マニュアル類等のご案内
 - (株) オデッセイ コミュニケーションズ運営（一般には非公開）
- Certiport Web Portal <https://certiport.pearsonvue.com/>
 - 試験結果の確認、第三者への公開
 - Certiport 運営
- 受験者 ID 登録・デジタル認定証 <https://www.odyssey-com.co.jp/id/>
 - 受験者 ID の登録、試験結果の確認方法、受験者 ID の統合などのご案内
 - (株) オデッセイ コミュニケーションズ運営

Certiport が運営する Web サイトはブラウザの自動翻訳を有効にすると、予期せぬ挙動が起こる場合があるため、必ず無効にしてください。

例：自動翻訳が有効な状態の Certiport Web Portal

注意！



2. Compass について

2.1. Compass で実施可能な試験

Windows 10 + Compass では、以下の試験を実施できます。

Windows 10 Pro	MOS	IC3	ITS	CCST	MCE	MSFUND	ACPro CC	ACPro Express	Swift	CCS	PMI
バージョン 22H2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

注意！ ACPro Express の試験は Adobe CC ライセンスやアプリのインストールは不要です。

2.2. Compass と共存可能な試験

Compass をインストールした試験マシンは、Compass Cloud、Odyssey CBT の各試験と共存できません。

2.3. Compass セットアップファイルの入手、バージョン確認方法

最新版の Compass のセットアップファイルは、会場サポートサイト TOP>試験システム>Compass (セットアップファイルのダウンロード、アップデート情報) からダウンロードしてください。バージョン情報についても、会場サポートサイトをご確認ください。

2.4. 必要システム構成

2.4.1. MOS、IC3 など (ACPro CC 以外)

システム		必要構成
CPU		デスクトップパソコン用のマルチコアプロセッサ *1 Windows エクスペリエンス インデックス 5.0 以上 (6 以上推奨)
RAM		8GB 以上
HDD・SSD		C ドライブの設定容量 100GB 以上推奨 空きデータ領域 15GB 以上推奨
OS *2		Windows 10 Pro 64 ビット版 ・ 2022 Update バージョン 22H2
Office	365	Microsoft 365 Apps for enterprise 64 ビット版 (Version 2408) *3 Microsoft 365 Apps for business 64 ビット版 (Version 2408) *3 Office Professional 2021 64 ビット版 (Version 2408) *4
	2019	Microsoft Office Professional Plus 2019 64 ビット版 (Version 1808) Microsoft Office Professional 2019 64 ビット版 (Version 1908)
	2016	Microsoft Office Professional Plus 2016 32 ビット版 (16.0.4266.1001) Microsoft Office Professional 2016 32 ビット版 (16.0.7571.2109)
画面 *5	サイズ	17 インチ以上
	解像度	基本 : 1280×1024 以上 (ワイド画面可) *6 ITS、MCE、MSFUND、IC3、CCST、Swift : 1024×768 利用可
	文字サイズ	100%
キーボード		JIS 配列 日本語キーボード (106 以上)
マウス		光学式 2 ボタンホイールマウス
プリンター		試験マシンから 300dpi 以上の A4 サイズで印刷可能なこと
OS アカウント		Administrator 権限のあるユーザーでセットアップ、試験実施
通信環境		インターネット常時接続
		HTTP (80 ポート) および HTTPS (443 ポート) で、双方向通信を確立
その他のソフトウェア		Google Chrome または Microsoft Edge Chromium 版 *7
		Adobe Acrobat Reader
		Microsoft .NET Framework 4.7 以上

*1 ノート PC の場合、外付モニタ、キーボード、マウスが必要です (参考 : 会場サポートサイト TOP>よくあるご質問>会場契約・登録変更>登録マシンについて(ノート PC の登録))

*2 Windows 10 Pro 以外のエディションはサポート対象外です。

*3 Web アプリ版は実施不可です。

*4 LTSC 版は実施不可です。

*5 複数のモニタ接続は不可。接続している場合は、サブモニタの電源を切ってください。

*6 MOS はアプリケーション画面が著しく小さくなるため、1024×768 は利用できません。

*7 レガシー版(2020 年 1 月 15 日以前の Ver)は試験実施不可です。

2.4.2. ACPro CC

システム		必要構成 *1
CPU		デスクトップパソコン用のマルチコアプロセッサ *2 Windows エクスペリエンス インデックス 5.0 以上 (6 以上推奨)
RAM		8GB 以上
HDD・SSD		Cドライブの設定容量 100GB 以上推奨 空きデータ領域 15GB 以上推奨
OS *3		Windows 10 Pro 64 ビット版 ・ 2022 Update バージョン 22H2
Adobe CC *4	2023	Adobe Creative Cloud 2023 ・ Photoshop 2023 Version 24.0 ~ 24.4.1、24.5、24.7、24.7.1 (24.3、24.6 は対象外) ・ Illustrator 2023 Version 27.0 ~ 27.8.1 ・ Premiere Pro 2023 Version 23.0 ~ 23.6
	2024	Adobe Creative Cloud 2024 ・ Photoshop 2024 Version 25.0、25.2 ~ 25.5.1、25.7 ~ 25.12.4 (25.1、25.6 は対象外) ・ Illustrator 2024 Version 28.0 ~ 28.7.10 ・ Premiere Pro 2024 Version 24.0 ~ 24.6.8
画面 *5	サイズ	17 インチ以上
	解像度	ワイド画面 1280×800 以上(推奨：1920×1080)
	文字サイズ	100%
キーボード		JIS 配列 日本語キーボード (106 以上)
マウス		光学式 2 ボタンホイールマウス
プリンター		試験マシンから 300dpi 以上の A4 サイズで印刷可能なこと
OS アカウント		Administrator 権限のあるユーザーでセットアップ、試験実施
通信環境		インターネット常時接続 HTTP (80 ポート) および HTTPS (443 ポート) で、双方向通信を確立
その他のソフトウェア		Google Chrome または Microsoft Edge Chromium 版 *6 Adobe Acrobat Reader Microsoft .NET Framework 4.7 以上

*1 ACPro を実施する場合、Adobe 公式サイトで公開されている各アプリケーションの必要システム構成に準拠してください。

*2 ノート PC の場合、外付モニター、キーボード、マウスが必要です(参考：会場サポートサイト TOP>よくあるご質問>会場契約・登録変更>登録マシンについて(ノート PC の登録))

*3 Windows 10 Pro 以外のエディションはサポート対象外です。

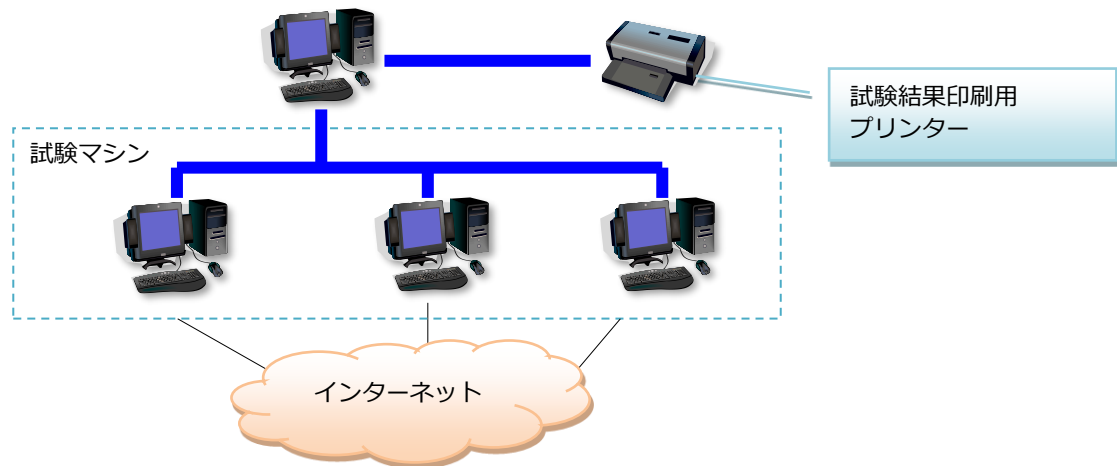
*4 第三者利用可能な Adobe CC ライセンス (共有デバイスライセンス) が必要です。

*5 複数のモニター接続は不可。接続している場合は、サブモニターの電源を切ってください。

*6 レガシー版(2020 年 1 月 15 日以前の Ver)は試験実施不可。

3. 試験環境の構築

受験者情報の確認、試験結果のアップロードを行うため、試験マシンはインターネットに接続されている必要があります。試験マシン以外には、試験結果レポートの印刷用プリンターが必要です。共有プリンターは、印刷負荷がかかるため、試験を実施しないマシンに接続して使用してください。プリントサーバの使用を推奨します。



3.1. 試験専用環境の構築

試験用の OS 環境に、講座用のプログラムやツール、模擬試験プログラムなどがインストールされていると、試験実施時のトラブル要因となります。また、同じ環境に複数バージョンの Office をインストールしての試験実施はできません。以下のいずれかの方法で、試験専用環境を構築してください。

運用例 1：試験専用の PC を用意

運用例 2：Windows 付属のブートマネージャーを利用して、講座環境と試験環境をそれぞれ構築。試験実施のときは試験環境のブートで起動。

運用例 3：Norton Ghost など、市販のディスクイメージソフトを使用して、講座環境と試験環境をそれぞれ構築。通常は講座環境を利用して、試験実施のときに試験環境を復元。(複数マシンに同時にイメージ展開するときは、ライセンス認証にご注意ください。)

注意 1

「瞬快」など、マシンを起動したときに各種設定を初期化するツールやソフトウェアは、使用しないでください。試験を正常に終了できなくなる場合があります。

注意 2

「SKYMENU」など教員用 PC から生徒用 PC のキーボードやマウスを一斉に操作できるソフトウェアは、使用しないでください。

3.2. プロキシ、ファイアウォール利用時の注意点

プロキシ、ファイアウォール、IP フィルターを利用して、試験環境を構築する場合は、

「certiport.com」ドメインとすべてのサブドメイン「*.certiport.com」が、ポート 80 (HTTP)、443 (HTTPS) をフルアクセスで通過できるように設定してください。

また、以下のサイトをホワイトリスト（安全が確認されている対象リスト）に登録してください。

- ・ http://*.certiport.com https://*.certiport.com
- ・ http://*.pearson.com https://*.pearson.com
- ・ http://*.pearsonvue.com https://*.pearsonvue.com
- ・ http://*.starttest.com https://*.starttest.com
- ・ http://*.starttest2.com https://*.starttest2.com
- ・ http://*.startpractice.com https://*.startpractice.com
- ・ http://*.programworkshop.com https://*.programworkshop.com
- ・ http://vueapbrowser.starttest.com/?program=CertiporSB
- ・ http://*.gettesting.com https://*.gettesting.com

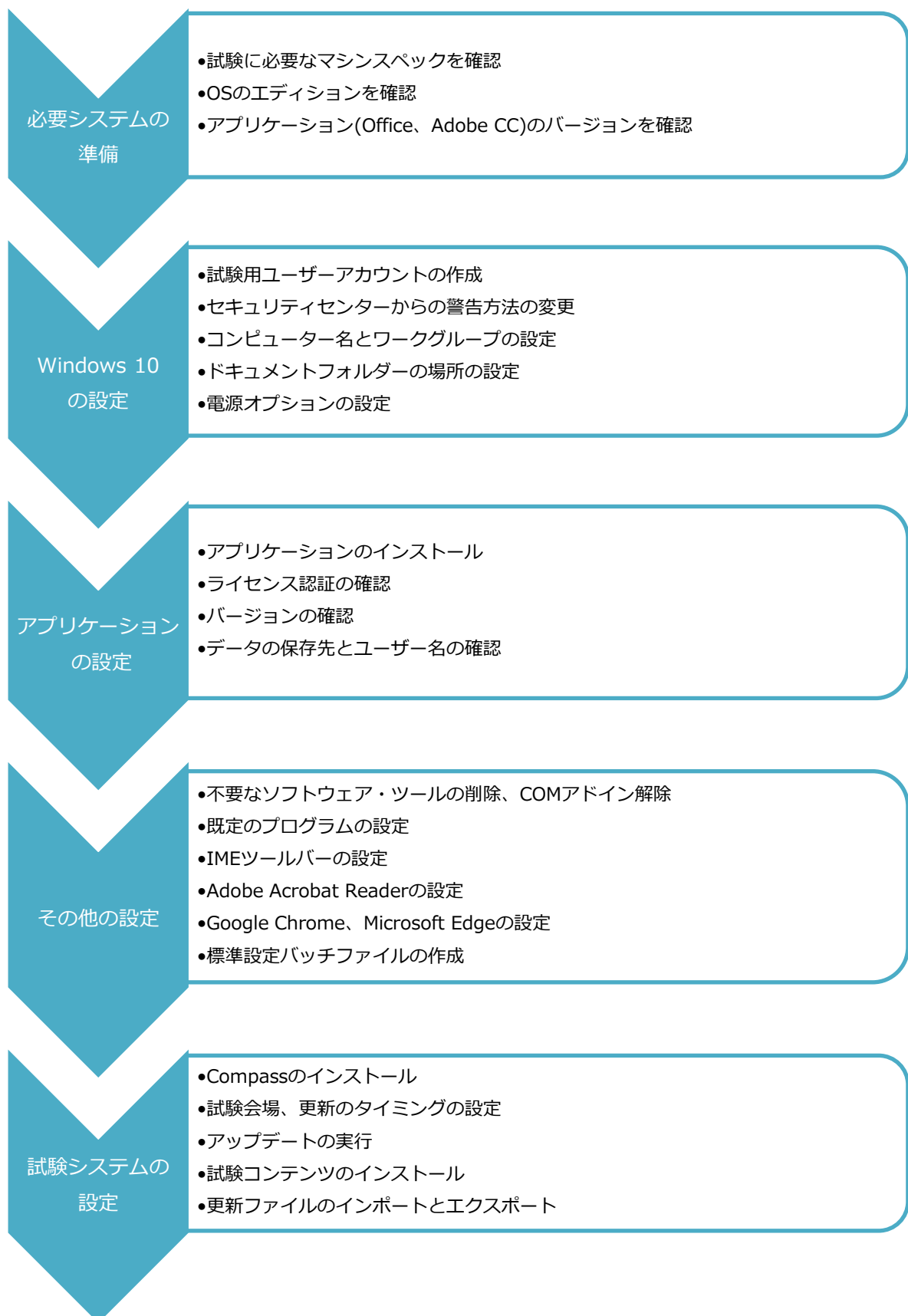
注意！

- HTTP リダイレクトを許可してください（リダイレクトはすべて certiport.com ドメイン内で完結します）。
- SOAP HTTP トラフィックをブロックしないでください。（SOAP : simple object access protocol）
- 認証を必要とするプロキシサーバー経由でインターネットへのアクセスが行われ、かつシステムが自動的に証明書を発行しないように設定されていると、試験実施中に問題が発生する場合があります。

3.3. 試験マシンのセットアップの流れ

正しい試験環境を構築するため、本マニュアルに従って漏れのないように各設定を行ってください。

※このページには一部の設定項目のみを記載しています。



4. Windows 10 の設定

4.1. 使用可能なエディション、バージョン

試験マシンで使用できる Windows 10 のエディションとバージョンは以下の通りです。

- **Windows 10 Pro 2022 Update バージョン 22H2**

注意 1

Enterprise、Education、Home など Pro 以外のエディションはサポート対象外です。
Windows 10 Pro for Workstations もサポート対象外です。

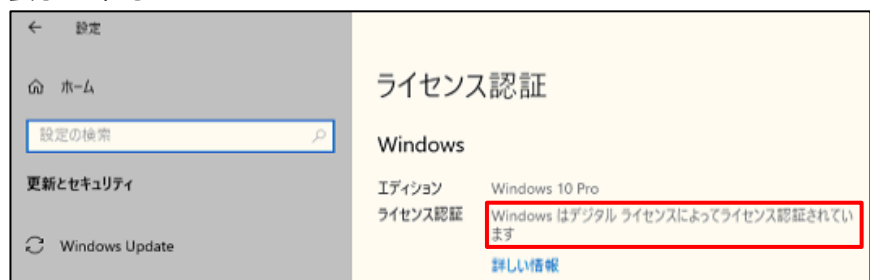
4.2. Windows 10 のインストール

Windows 10 をインストールする時は、下記の事項に注意してインストールを行ってください。

- 必ず C ドライブにインストールしてください。
- デバイスマネージャーで各種ドライバーがインストールされているか確認してください。
特にビデオドライバーは、Windows 10 対応版がインストールされているか確認してください。
- 第三者の利用が認められている Rental Rights の対象となる正規ライセンス製品をご利用ください。
- OS のライセンスは、そのインストール形態に応じて必要数分の正規ライセンスをご用意ください。
なお、本マニュアルに記載された内容に従って試験が実施されているかどうかを検査するために、当社または当社の指定した第三者が通常の営業時間中に試験会場を検査することがあります。あらかじめご了承ください。
- Windows がライセンス認証されていることを必ず確認してください。

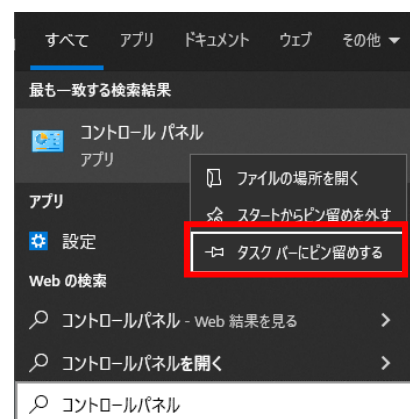
①スタートボタンを右クリック > 設定 > 更新とセキュリティ > ライセンス認証をクリック

②ライセンス認証ウィンドウが表示されるので、「Windows はデジタルライセンスによってライセンス認証されています」の表示を確認



参考!

コントロールパネルを開くには、スタートボタンを右クリック > 検索 で表示される検索ボックスに、「コントロールパネル」と入力します。
コントロールパネルのアイコンを右クリックして「タスクバーにピン留めする」を選択するとタスクバーにコントロールパネルのショートカットアイコンが作成されます。

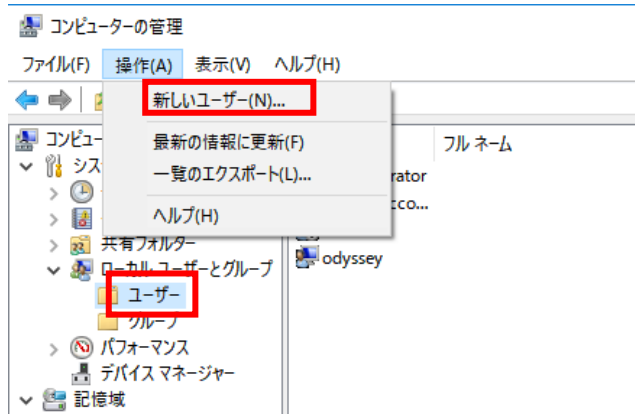


4.3. 試験マシン用環境設定

4.3.1. 試験用ユーザーアカウントの作成

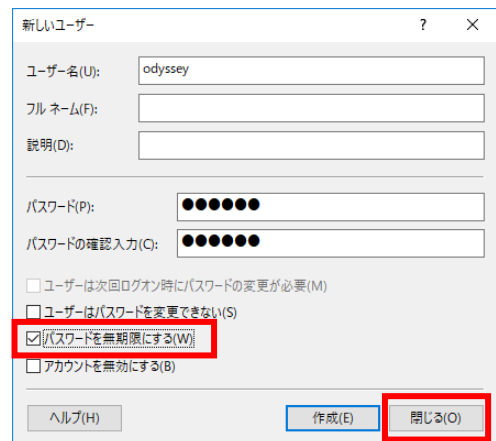
試験用のユーザーアカウントをローカルの Administrator 権限で作成します。

- ① コントロール パネル > [システムとセキュリティ] > [管理ツール] > [コンピューターの管理] をダブルクリック
- ② [コンピューターの管理] ウィンドウの [ローカル ユーザーとグループ] を展開して、[ユーザー] フォルダを選択
- ③ メニューの [操作] > [新しいユーザー] をクリック



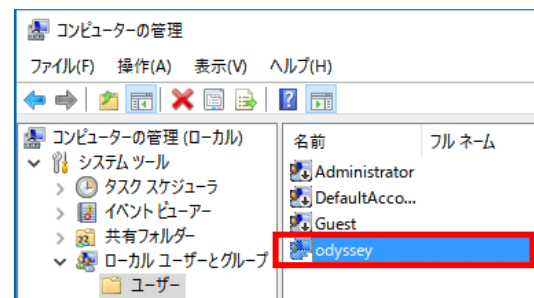
- ④ ユーザー名とパスワードを半角英数字で入力後、[ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要]のチェックをはずして、[パスワードを無期限にする]にチェックを入れて、[作成] ボタンをクリックし、[閉じる] ボタンをクリック

* このマニュアルでは odyssey というユーザー名にしています。



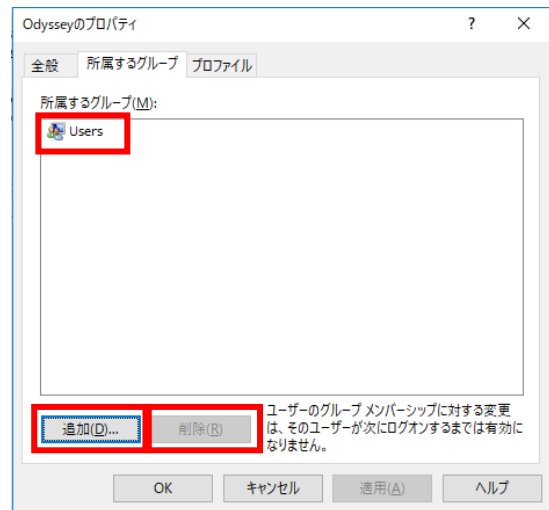
注意! ユーザー名に、ハイフンやアンダーバーなどの記号は使用しないでください。ユーザーパスワードは必ず登録してください。

- ⑤ 作成したユーザーアカウントをダブルクリック

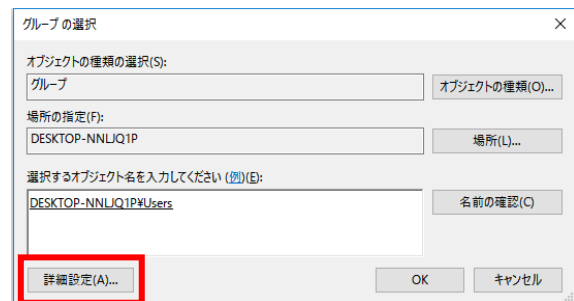


- ⑥ [所属するグループ] タブを選択して、表示されている [Users] グループを選択し、[削除] ボタンをクリック

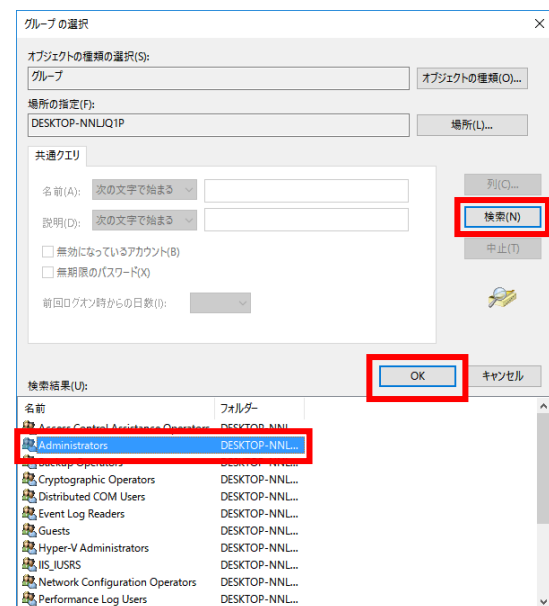
- ⑦ 削除されたら [追加] ボタンをクリック



- ⑧ [グループの選択] ダイアログボックスの「詳細設定」ボタンをクリック

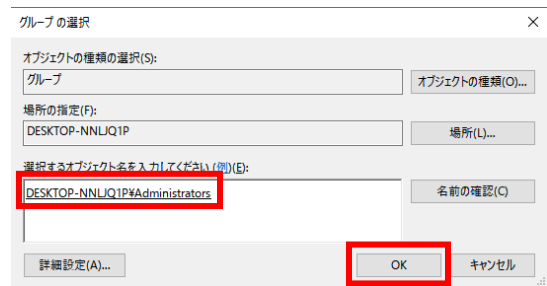


- ⑨ [検索] ボタンをクリックして検索結果画面に名前の一覧が表示されたら、[Administrators] を選択して [OK] ボタンをクリック

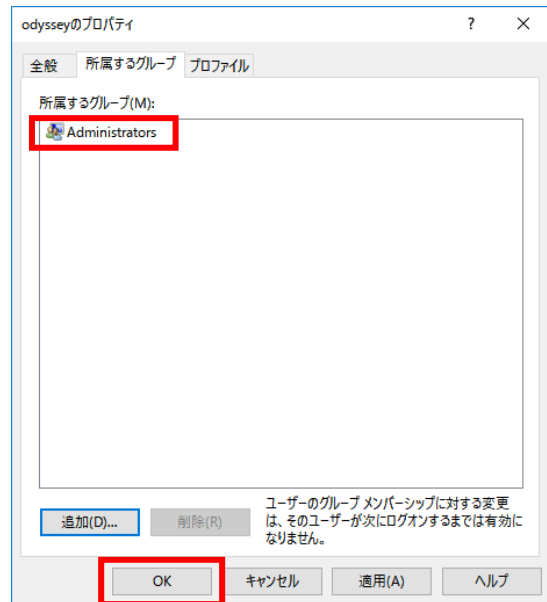


- ⑩ 「XXXX¥Administrators」の表示を確認して [OK] ボタンをクリック

*XXXX はコンピューター名になります。

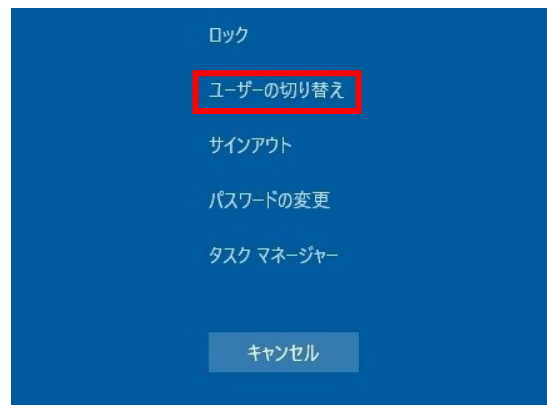


- ⑪ [所属するグループ] に Administrators が表示されていることを確認して、[OK] ボタンをクリック



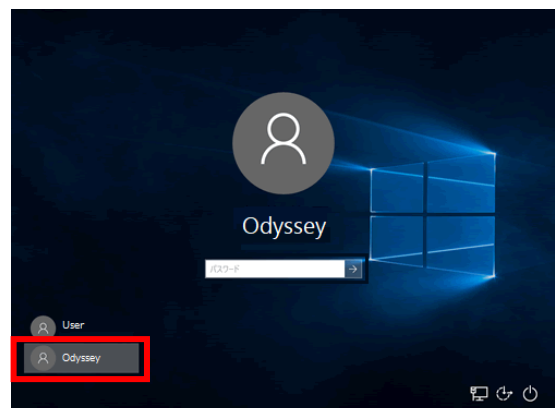
- ⑫ [Ctrl] + [Alt] + [Delete] キーを押す

- ⑬ [ユーザーの切り替え] をクリック



- ⑭ 新しく作成したユーザーを選択してログイン
*ログイン画面の背景は、お使いの環境によって異なります。

これ以降の設定は、作成したユーザーアカウントで、必ずログインし直してから行ってください。



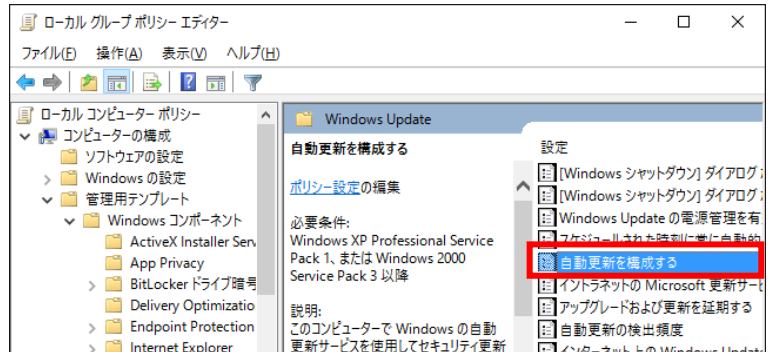
4.3.2. 自動更新の無効化（グループポリシーの設定）

グループポリシーを利用して自動更新を無効にします。

① スタートボタンを右クリック > ファイル名を指定して実行 をクリック

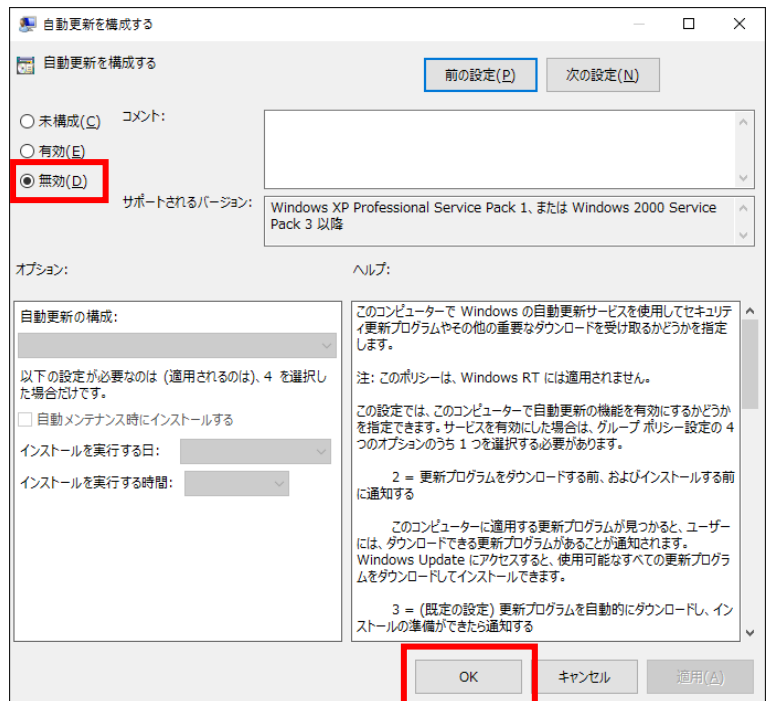
② 「gpedit.msc」と入力して [OK] ボタンをクリック

③ コンピューターの構成 > 管理用テンプレート > Windowsコンポーネント > Windows Update をクリック



④ 右ペインにある [自動更新を構成する] をダブルクリック

⑤ [無効] を選択して [OK] ボタンをクリック



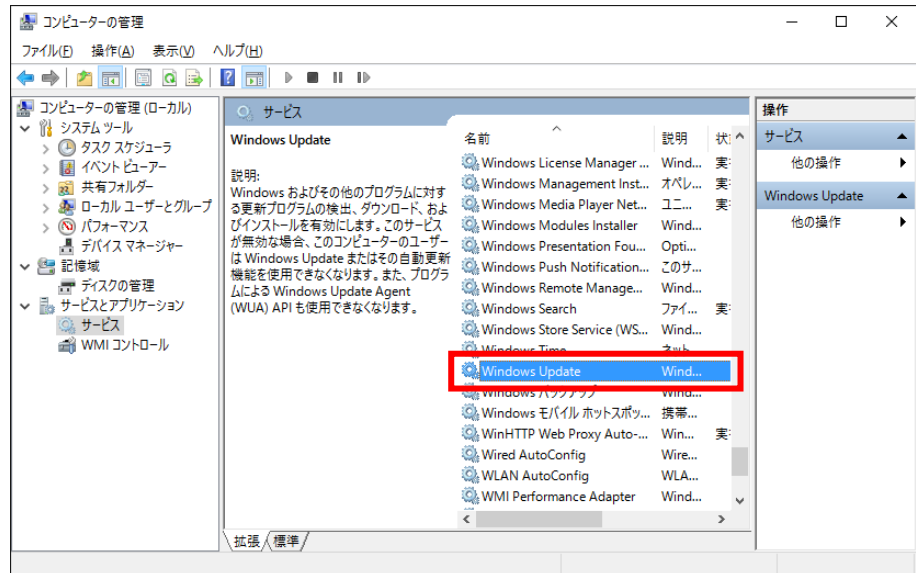
注意！

サポートする更新プログラムは、サポートサイトで随時ご案内します。案内のない更新プログラムはインストールしないでください。

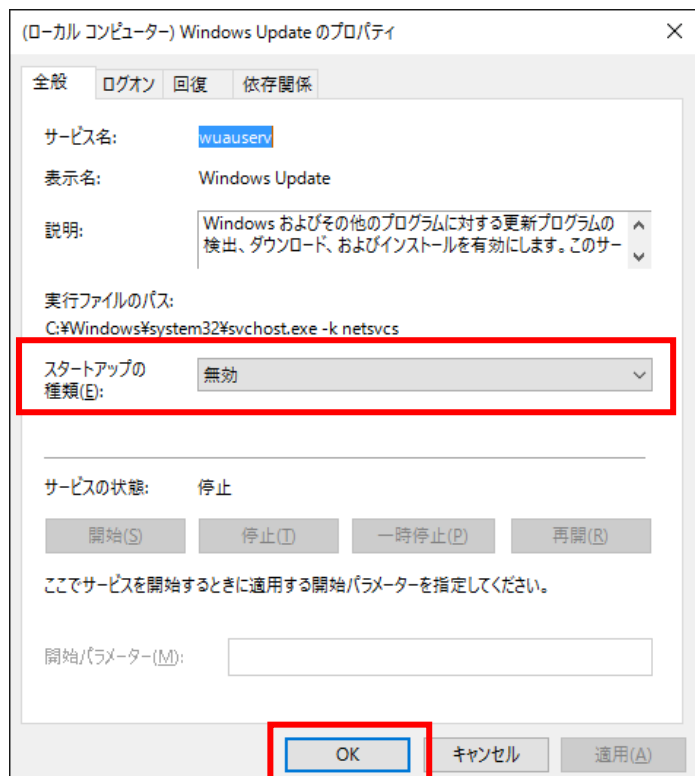
4.3.3. Windows Update サービスの停止

自動更新されないように Windows Update のサービスを停止します。

- ① スタートボタンを右クリック > コンピューターの管理 をクリック
- ② サービスとアプリケーション > サービスをクリック
- ③ 右ペインにある [Windows Update] をダブルクリック



- ④ スタートアップの種類を [無効] にして [OK] ボタンをクリック



注意！

サポートする更新プログラムは、サポートサイトで随時ご案内します。案内のない更新プログラムはインストールしないでください。

4.3.4. セキュリティに関するメッセージの設定

試験中に警告バルーンが表示されないように設定します。

- ① コントロール パネル > システムとセキュリティ > セキュリティとメンテナンス をクリック
- ② 左側メニューにある [セキュリティとメンテナンスの設定を変更] をクリック
- ③ [ユーザー アカウント制御] と [Windows トラブルシューティング] のみにチェックが入っている状態にして、[OK] ボタンをクリック



注意 1 お使いの環境によっては表示内容が画像と異なる場合があります。

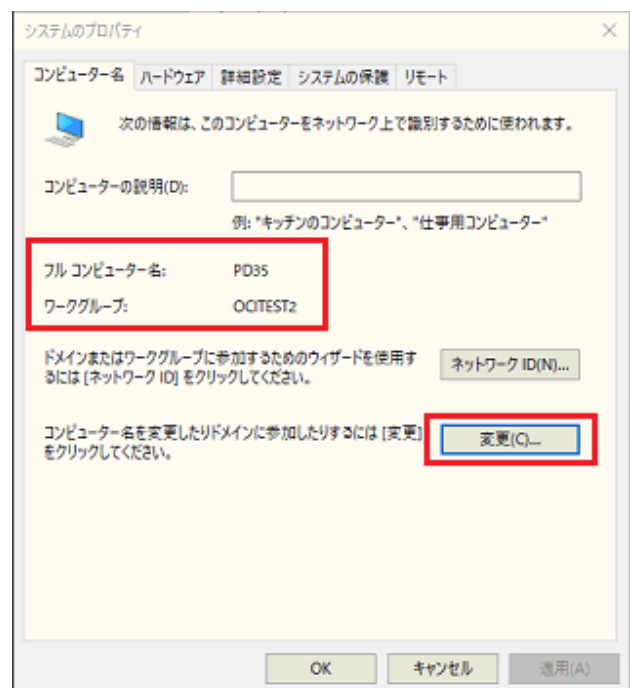
注意 2 設定が変更できない場合、現在 Windows にログインしているユーザーアカウントに Administrator 権限が付与されているかどうかをご確認ください。(4.3.1 参照)

4.3.5. コンピューター名とワークグループの設定

コンピューター名とワークグループを確認します。

- ① コントロール パネル > システムとセキュリティ > システム > システムの詳細設定 をクリック
- ② コンピューター名タブを開き、[フル コンピューター名]、[ワークグループ] を確認

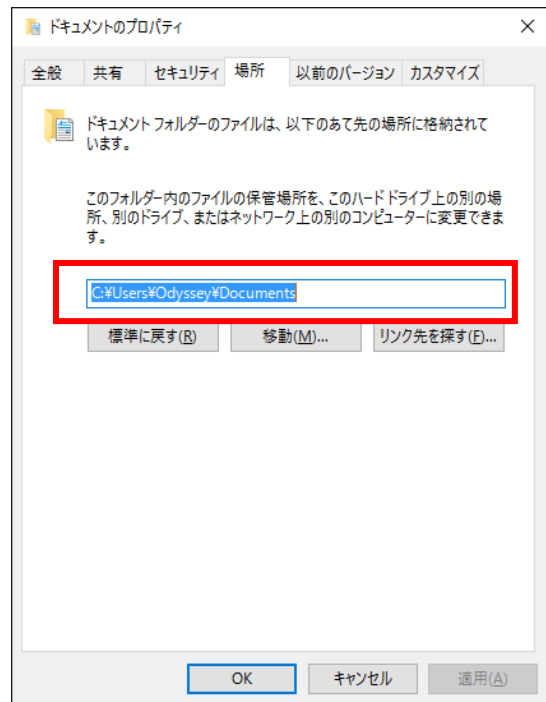
注意 ! コンピューター名とワークグループ名には、2 バイト文字 や 数字のみの組み合わせ、記号は使用しないでください。必ず半角英数字の組み合わせで登録してください。正しくない場合には「変更」ボタンから内容を変更してください。



4.3.6. ドキュメント フォルダの場所の設定

ドキュメント フォルダが既定の場所にあるか確認します。

- ① エクスプローラー > PC > ドキュメント を右クリック > プロパティ を選択
- ② 「場所」のタブをクリック
- ③ 「C:\\$Users\\$○○○\\$Documents」の、○○○の箇所が現在ログインしているユーザーアカウントと同じであることを確認
- ④ 違う場合は「標準に戻す」ボタンをクリック

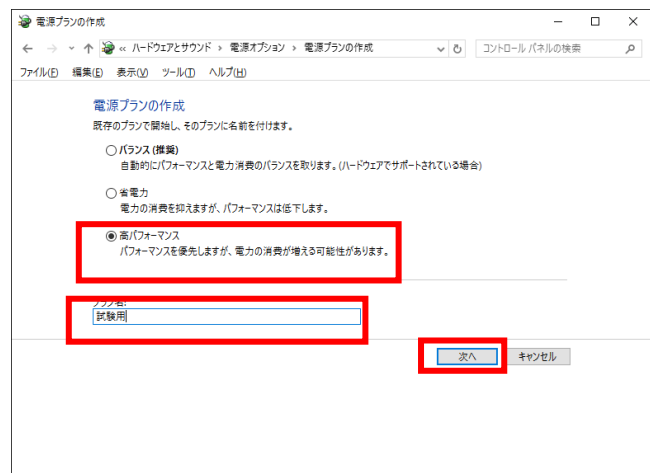


4.3.7. 電源オプションの設定

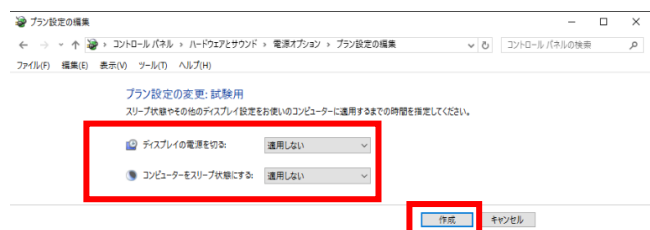
試験中にシステムスタンバイが実行されないように設定します。

- ① コントロール パネル > システムとセキュリティ > 電源オプション をクリック
- ② 左側メニューの「電源プランの作成」をクリック
- ③ 「高パフォーマンス」を選択して、プラン名を入力したら、「次へ」ボタンをクリック

* このマニュアルでは「試験用」というプラン名にしています。



- ④ 「ディスプレイの電源を切る」を「適用しない」、 「コンピューターをスリープ状態にする」を「適用しない」にして、「作成」ボタンをクリック



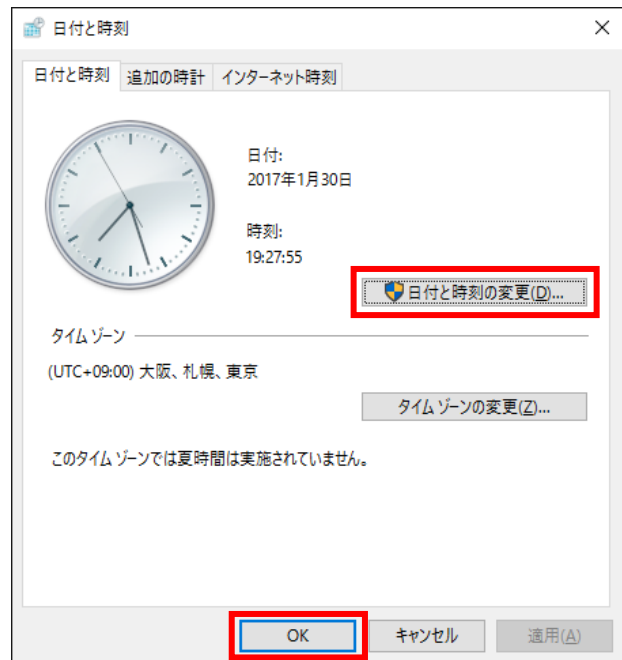
- ⑤ 作成したプランが設定されていることを確認

4.3.8. 日付と時刻の設定

現在の日時が 24 時間表示で正しく設定されていることを確認します。

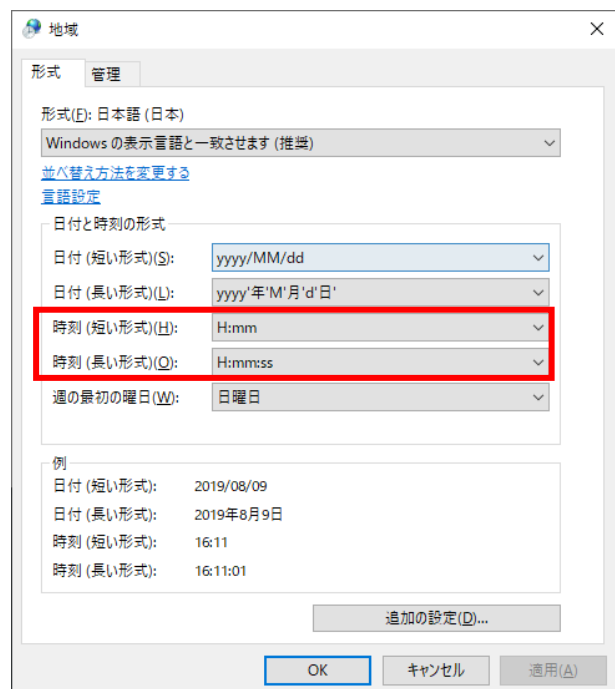
- ① コントロール パネル > [時計と地域] > [日付と時刻の設定] をクリック
- ② 日時が正しく設定されていることを確認

日時が正しくない場合は、[日付と時刻の変更] ボタンをクリックして修正し、[OK] ボタンをクリック



- ③ コントロール パネル > [時計と地域] > [日付、時刻、数値形式の変更] をクリック
- ④ [地域] ダイアログボックスの [時刻 (短い形式)] が「H:mm」、[時刻 (長い形式)] が「H:mm:ss」に設定されていることを確認

形式が正しくない場合は、修正し、[OK] ボタンをクリック

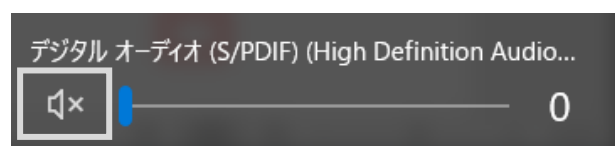


注意！ 日時が正しくない場合、Compass にログインできません。

4.3.9. システム音量の設定

試験中に音がならないように設定します。

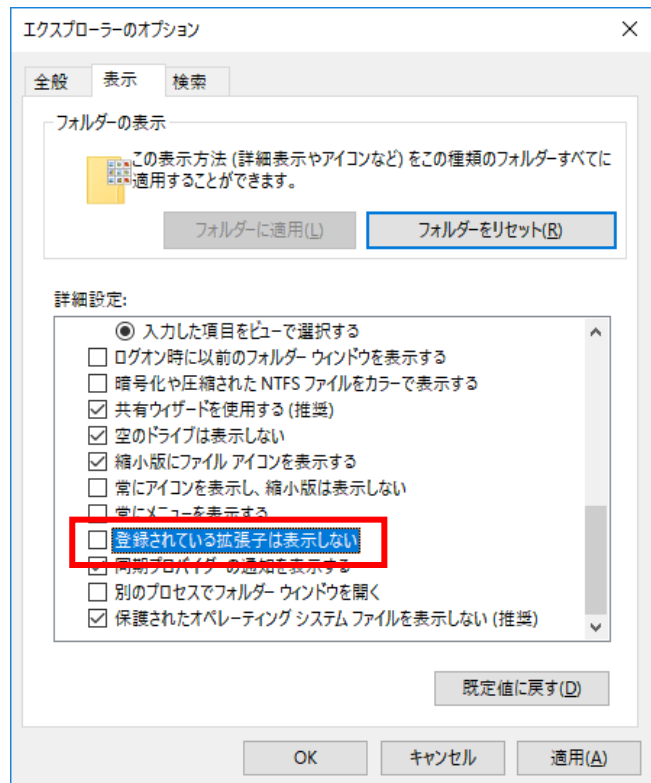
- ① タスクトレイのスピーカーアイコンをクリック
- ② [ミュートスピーカー] ボタンをクリック



4.3.10. 拡張子の表示

ファイルの拡張子が表示されるように設定します。

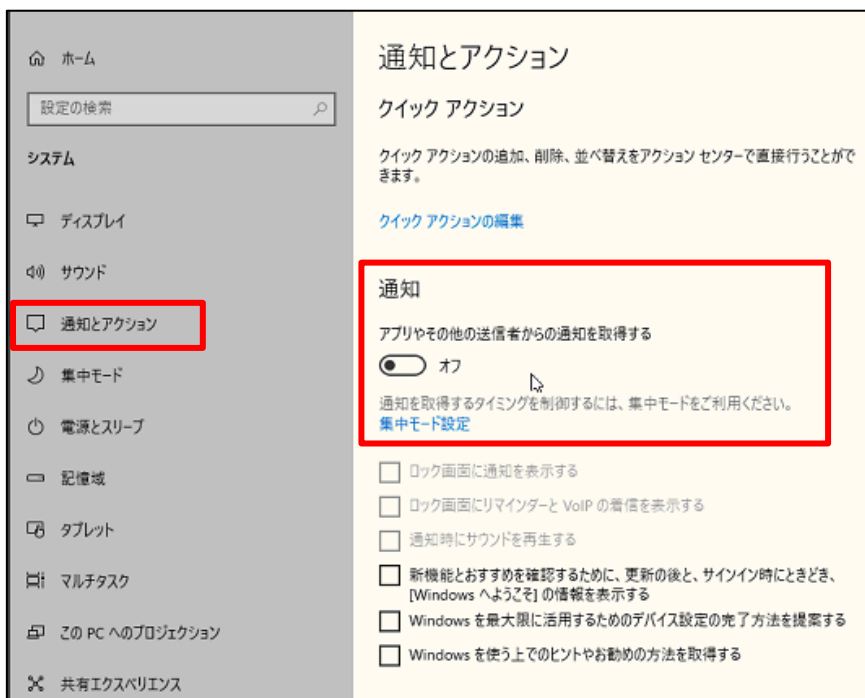
- ① コントロール パネル > デスクトップのカスタマイズ > エクスプローラーのオプションをクリック
- ② [表示] タブ > [登録されている拡張子は表示しない] のチェックをはずして、[OK] ボタンをクリック



4.3.11. 通知とアクションの設定

試験中に通知が表示されないように設定します。

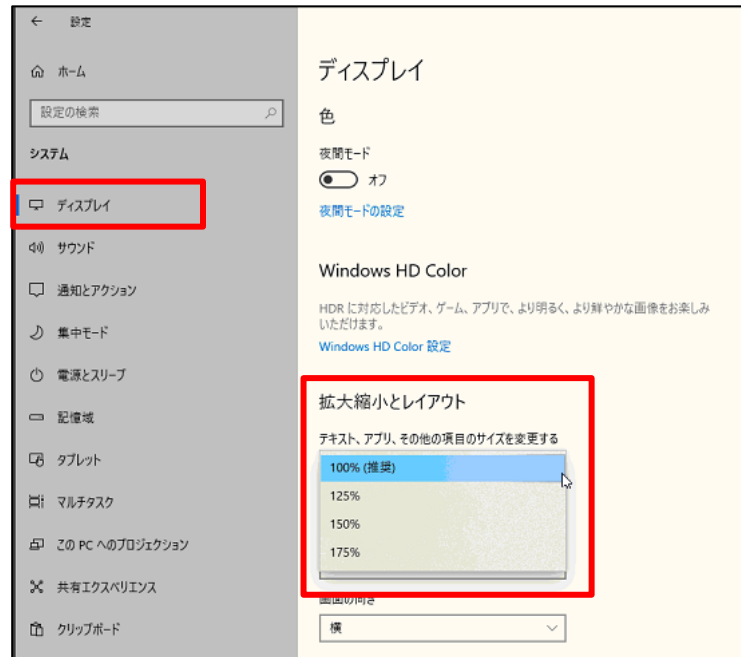
- ① スタートボタンを右クリック > 設定 > システム > 通知とアクションをクリック
- ② 通知の下にある項目を [オフ] にする



4.3.12. ディスプレイの設定

画面全体の表示サイズを変更します。

- ① スタートボタンを右クリック > 設定 > システム > ディスプレイをクリック
- ② 拡大縮小とレイアウトの下にある、[テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する]の項目を 100%にする。



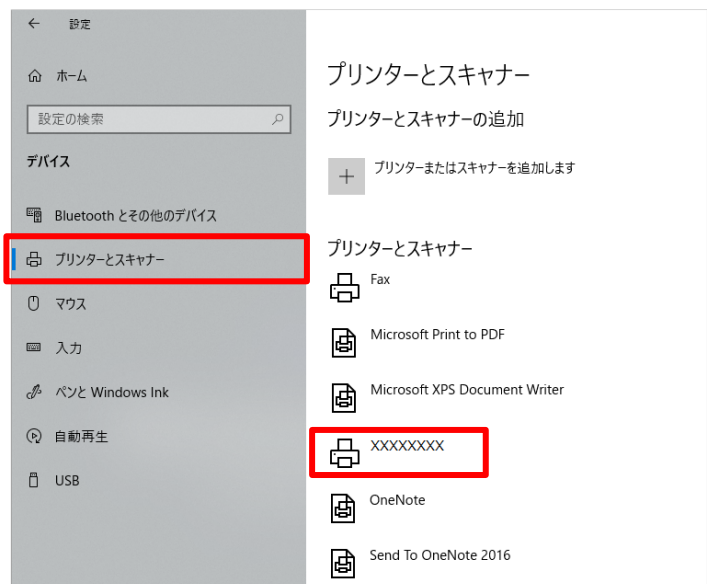
注意！

ノート型パソコンをご利用の場合、推奨設定が 125%になっている事がありますが、100%に設定してください。

4.3.13. プリンターの設定

試験結果レポートを印刷するためのプリンターの設定を確認します。

- ① スタートボタンを右クリック > 設定 > デバイス > プリンターとスキャナーをクリック
- ② 印刷に使用するプリンターが表示されていることを確認



注意！

プリンタードライバーがインストールされていないと試験を開始できません。試験ごとに結果レポートを印刷されない場合でも、プリンタードライバーは必ず 1 つ以上インストールしてください。

4.3.14. Xbox Game Bar の無効化

Xbox Game Bar を無効化します。

- ① スタートボタンを右クリック > 設定 > ゲームをクリック
- ② Xbox Game Bar の下にある項目を [オフ] にする



4.3.15. 3D Objects フォルダーの作成 (2016・2019のみ)

Windows 10 21H2 以降のバージョンでは、ナビゲーションウィンドウに 3D Objects フォルダーが表示されません。そのため、試験用の 3D Objects フォルダーの作成を行います。

会場サポートサイト TOP > 試験システム > Windows サポートバージョンとアップデート方法 内の、「3D Objects フォルダーの作成」を参照してください。

参考！ Windows 10 バージョン 21H2 以前のバージョンからアップデートしたマシンの場合は、フォルダーを作成しなくてもナビゲーションウィンドウ上に 3D Objects フォルダーが表示されます。

5. Office アプリケーションの設定

5.1. Office アプリケーションのインストール時の注意点

- 試験環境では、1つのOSに複数のバージョンのOffice製品をインストールしないでください。1ブート(1OS)に対して、ひとつのOfficeのみインストールした環境がサポート対象です。Officeのバージョンごとに専用の試験環境を構築してください。
- デバイスマネージャーで各種ドライバーがインストールされているか確認してください。
- 必ずCドライブにインストールしてください。
- Office製品のライセンスは、そのインストール形態に応じて必要数分の正規ライセンスを購入してください。なお、本マニュアルに記載された内容に従って試験が実施されているかどうかを検査するために、当社または当社の指定した第三者が通常の営業時間中に試験会場を検査することがあります。あらかじめご了承ください。

5.2. 使用可能なOffice製品

Windows 10の試験マシンで使用できるOffice製品は以下のとおりです。

- サポートするOffice製品

バージョン	Office製品
Microsoft 365	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft 365 Apps for enterprise 64ビット版 (Version 2408 対応) ※注意 2 ・ Microsoft 365 Apps for business 64ビット版 (Version 2408 対応) ※注意 2 ・ Office Professional 2021 64ビット版 (Version 2408 対応) ※注意 3
Office 2019	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Office Professional Plus 2019 64ビット版 (Version 1808 対応) ・ Microsoft Office Professional 2019 64ビット版 (Version 1908 対応)
Office 2016 ※ 注意 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Office Professional Plus 2016 32ビット版 (16.0.4266.1001 対応) ・ Microsoft Office Professional 2016 32ビット版 (16.0.7571.2109 対応)

注意 1 64ビット版 Office2016 はサポート対象外です。

注意 2 Web アプリ版は実施不可です。

注意 3 LTSC 版は実施不可です。

5.3. Microsoft 365 の設定

5.3.1. Microsoft 365 のバージョン確認

Microsoft 365 または Office 2021 をインストールしたのち、試験システムでサポートするバージョンに戻します。

Microsoft 365、Office 2021 とともにサポートバージョンは「**Version 2408**」です。

- ① Excel を起動して左側の メニュー> アカウント からバージョン情報を確認する

指定のバージョンより新しいバージョンの場合

⇒ ②に進んでください

指定のバージョンの場合

⇒ ④から⑥のみ行ってください

- ② 会場サポートサイト TOP> 試験システム
>Microsoft 365 サポートバージョンに変更する
手順

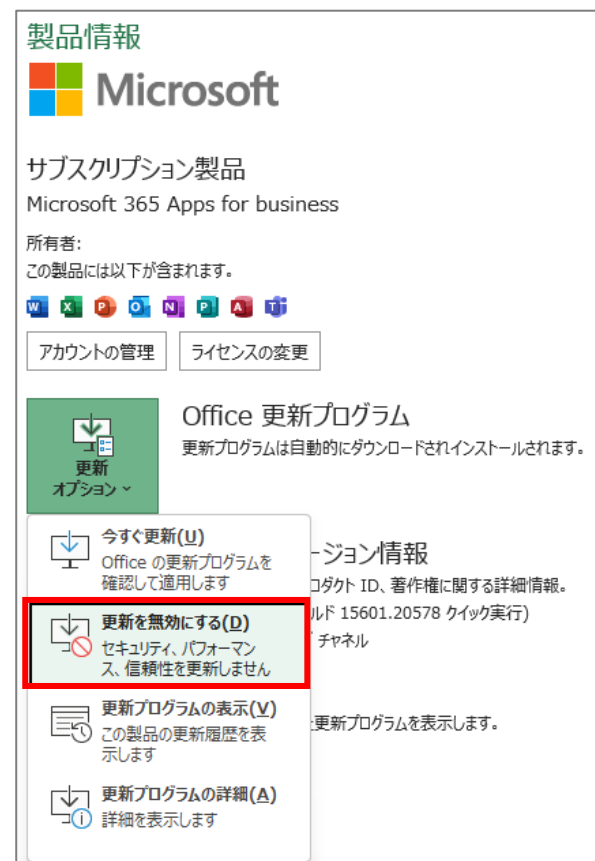
に従い、指定のバージョンに戻す

- ③ 更新が終わったら、Excel を起動して左側の
メニュー> アカウント からバージョンを再確認する

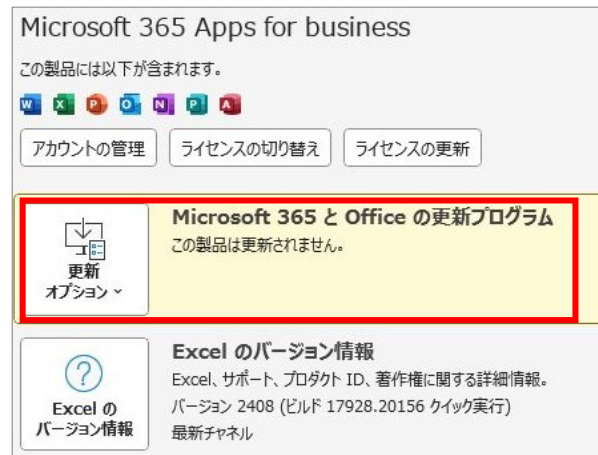


- ④ [更新オプション] をクリック

- ⑤ [更新を無効にする] を選択



⑥ 「この製品は更新されません」の表示を確認

**注意 1**

Microsoft 365 を使用する場合、Microsoft アカウントでサインインした状態にしてください。

注意 2

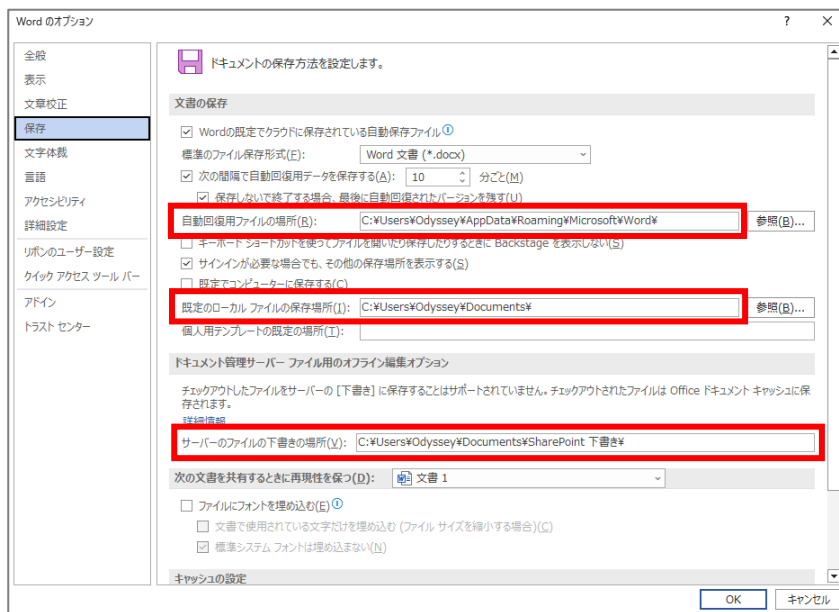
Microsoft 365 Apps admin center を使用して管理している場合は、クラウド更新を無効にしてください。
※手順が不明な場合は Microsoft や販売代理店にお問い合わせください。

5.3.2. データの保存先、ユーザー名の確認 (365 共通)

各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されているか確認します。(本マニュアルでは、「Odyssey」という OS ユーザーアカウントを使用しています。) 同時に Microsoft 365 に登録したユーザー名も確認します。

【Word 365】ファイル > オプション > 保存

[自動回復用ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所] に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認



【Excel 365】ファイル > オプション > 保存

[自動回復用ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所] に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【PowerPoint 365】ファイル > オプション > 保存

[自動回復用ファイルの場所]、[既定のローカルファイルの保存場所]、[サーバーのファイルの下書きの場所] に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

5.4. Office 2019 の設定

5.4.1. Office 2019 のバージョン確認

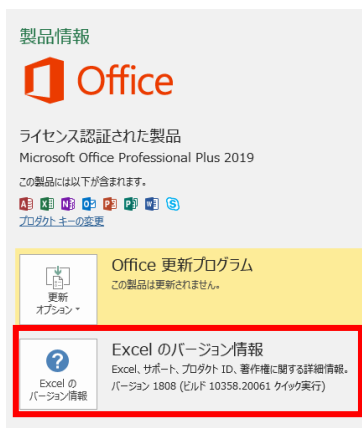
Office 2019 をインストールしたのち、試験システムでサポートするバージョンに戻します。試験システムでサポートする Office 2019 のバージョンはエディションによって異なります。ご利用のエディションを確認いただきセットアップしてください。

Microsoft Office Professional 2019 ご利用の場合は「**Version 1908**」

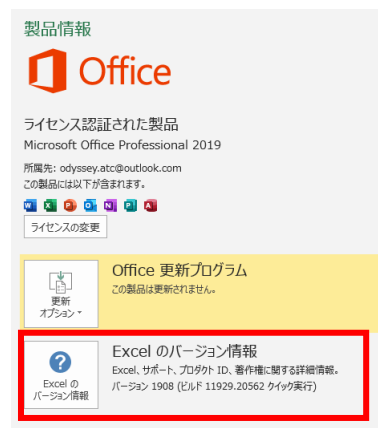
Microsoft Office Professional Plus 2019 ご利用の場合は「**Version 1808**」です。

- ① Excel を起動して空白のブックを開き、ファイル > アカウント からバージョン情報を確認する
 指定のバージョンより新しいバージョンの場合 ⇒ ②に進んでください
 指定のバージョンの場合 ⇒ ④から⑥のみ行ってください

【Professional Plus Version 1808】

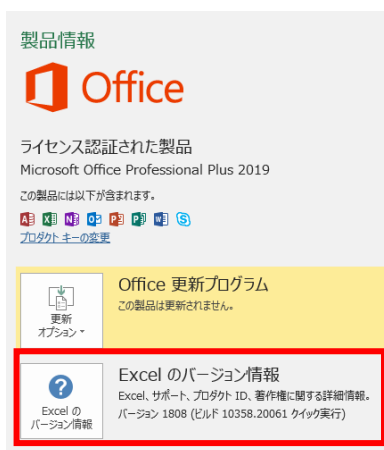


【Professional Version 1908】

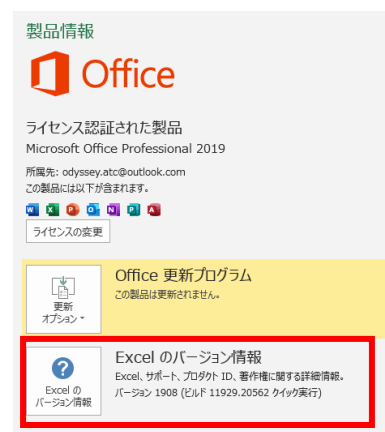


- ② 会場サポートサイト TOP>試験システム>Office 2019 サポートバージョンに戻す手順に従い、指定のバージョンに戻す
- ③ 更新が終わったら、バージョンを再確認する。
Excel を起動して空白のブックを開き、ファイル > アカウント からバージョン情報を確認

【Professional Plus Version 1808】



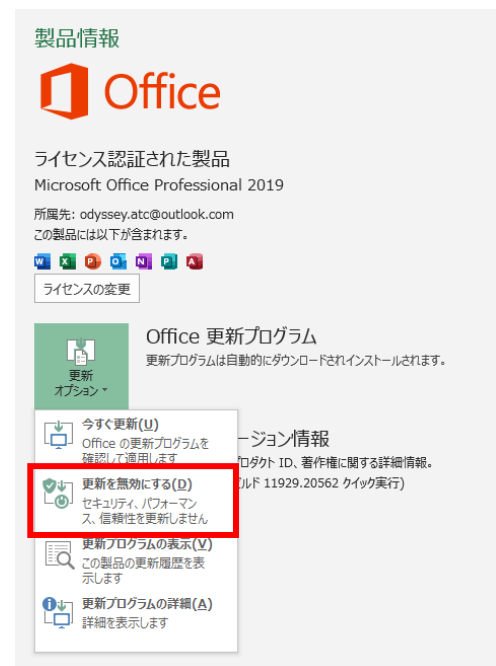
【Professional Version 1908】



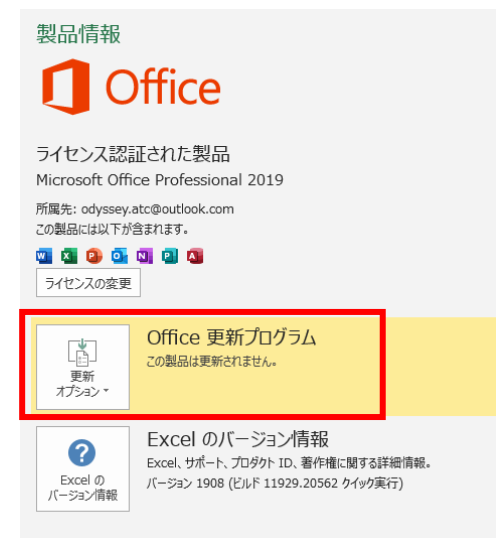
④ [更新オプション] をクリック



⑤ [更新を無効にする] を選択



⑥ 「この製品は更新されません」の表示を確認

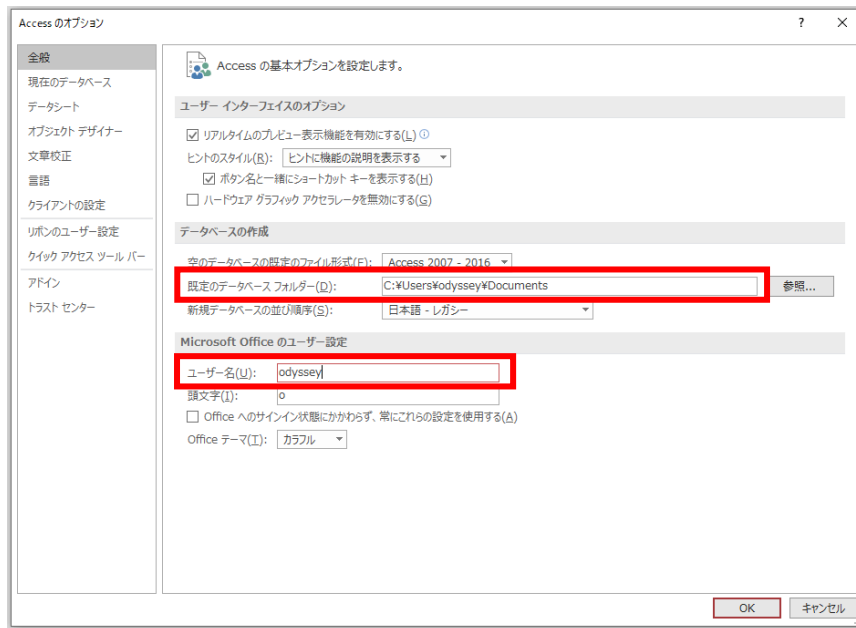


5.4.2. データの保存先、ユーザー名の確認 (2019 共通)

各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されているか確認します。(本マニュアルでは、「odyssey」という OS ユーザーアカウントを使用しています。) 同時に Office 2019 に登録したユーザー名も確認します。

【Access 2019】ファイル > オプション > 全般

【既定のデータベース フォルダー】に現在 Windows にログインしているユーザーアカウントが表示され、【ユーザー名】に Office に登録したユーザー名が表示されていることを確認



【Word 2019】ファイル > オプション > 保存

【自動回復用ファイルの場所】、【既定のローカルファイルの保存場所】、【サーバーのファイルの下書きの場所】に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【Excel 2019】ファイル > オプション > 保存

【自動回復用ファイルの場所】、【既定のローカルファイルの保存場所】、【サーバーのファイルの下書きの場所】に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【PowerPoint 2019】ファイル > オプション > 保存

【自動回復用ファイルの場所】、【既定のローカルファイルの保存場所】、【サーバーのファイルの下書きの場所】に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

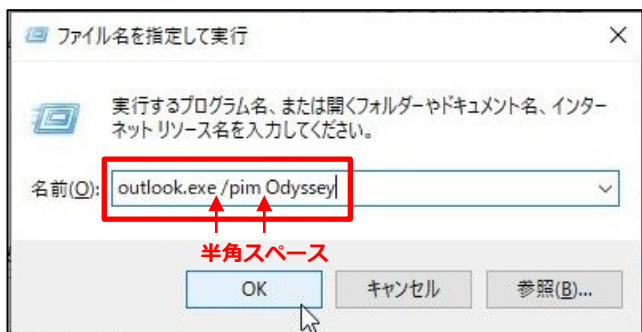
5.4.3. Outlook 2019 の設定 (2019 共通)

Outlook 起動前にプロファイルを作成し、Outlook 2019 の設定を行います。

- 注意 1** 試験を実施する前に以下の手順で設定を行い、必ずプロファイルを作成してください。プロファイルがない状態で試験を実施すると、Compass や Outlook 2019 に不具合が生じる場合があります。
- 注意 2** Outlook 2019 の試験を実施する試験マシンでは、Outlook や他のメールソフトを使用して、実際に電子メールの送受信をしないでください。試験専用環境を構築してください。
- 注意 3** 既に Outlook 2019 にメールアカウントの登録がされている場合は、メールデータをバックアップ後にアカウントを削除してください。

インストール後初回は通常起動ではなく、「ファイル名を指定して実行」から起動します。

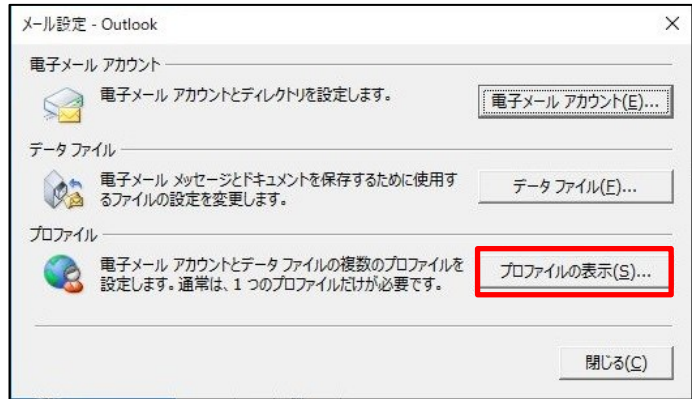
- ① スタートボタンを右クリック > ファイル名を指定して実行 をクリック
- ② 「outlook.exe /pim XXXX」と入力して [OK] ボタンをクリック
 - ※ outlook.exe の後ろと pim の後ろには半角スペースが入ります。
 - ※ XXXX は任意のプロファイル名です。「Outlook」以外の任意の半角英数字を入れてください。
このマニュアルでは Odyssey というプロファイル名を使用しています。



- ③ Outlook 2019 が起動するので、ファイルタブ > 情報 > アカウント設定 > プロファイルの管理をクリック



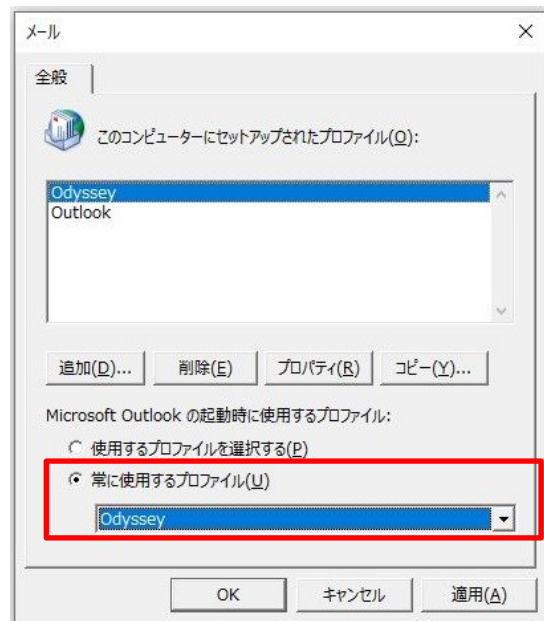
- ④ メール設定ダイアログボックス>プロファイルの表示をクリック



- ⑤ 「常に使用するプロファイル」に②で指定したプロファイルを選択して、[OK] ボタンをクリック

- ⑥ Outlook 2019 を終了

- ⑦ Outlook 2019 を通常起動し、メールアカウントがない状態で Outlook が起動することを確認



※Outlook を通常起動して以下の画面が出た場合「×」をクリックして、手順の①から設定してください。



※設定が終了したら、「6.Adobe アプリケーションの設定(ACPro CC のみ)」または「7.その他の設定」にお進みください。

5.5. Office 2016 の設定

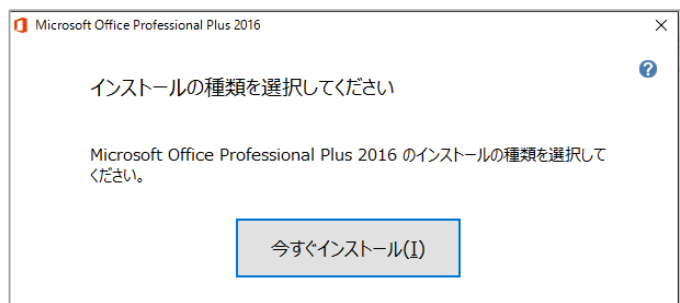
5.5.1. Office 2016 インストール形式の確認

同じ Office 製品でもライセンスの形態によりインストール手順やサポートするバージョンが異なります。インストール形式を確認して、各設定を行ってください。

【Windows インストーラー (MSI) 形式】

インストール時にユーザー設定より、インストールするプログラムを個別に指定する事ができる形式です。

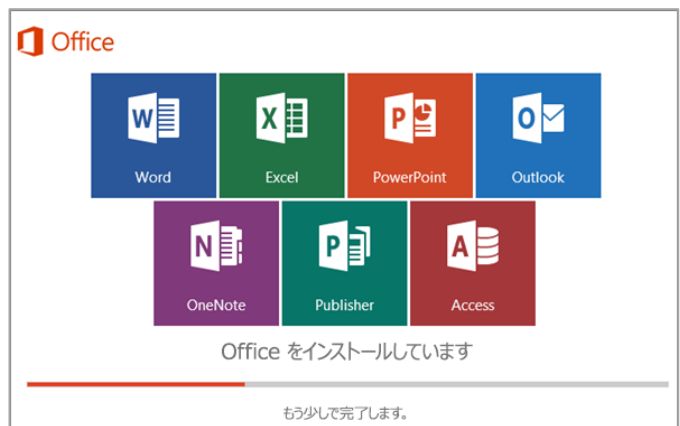
Office 2016 のインストール画面にて、[インストールの種類を選択してください]が表示された場合、「5.5.1.1. Office 2016 更新プログラムの適用 (Windows インストーラー (MSI) 形式のみ)」を参照しセットアップしてください。



【クイック実行 (Click to Run) 形式】

インストール時に全てのプログラムが自動的に最新の状態でフルインストールされる形式です。

Office 2016 のセットアップファイルを実行後、自動的にインストールが開始された場合は、「5.5.1.2 Office 2016 のバージョン確認 (クイック実行 (Click to Run) のみ)」を参照しセットアップしてください。



既にインストール済で、インストール形式が不明の場合は、以下の表を参考にインストール形式を判断してください。

●インストール形式別 Office 2016 製品

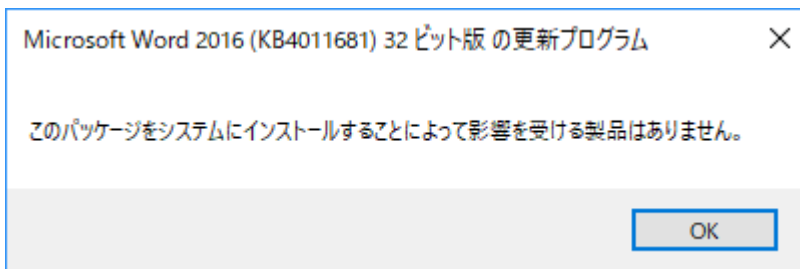
インストール形式	Office 製品名
Windows インストーラー (MSI)	・ Microsoft Office Professional Plus 2016
クイック実行 (Click to Run)	・ Microsoft Office Professional Plus 2016 ja-jp ・ Microsoft Office Professional 2016

5.5.1.1. Office 2016 更新プログラムの適用 (Windows インストーラー (MSI) 形式のみ)

Windows インストーラー (MSI) 形式で Microsoft Office Professional Plus 2016 32 ビット版 (16.0.4266.1001) をインストールしたのち、以下の URL を参照して、Office の更新プログラムを適用してください。

- KB4011681 : Word 用 ダウンロードページ
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=56553>
- KB4011684 : Excel 用 ダウンロードページ
<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=56529>

バージョン 16.0.4266.1001 以外はインストール不要です。
適用が不要な場合は、インストールしようとする時以下のメッセージが表示されます。



※続いて、5.5.2.データの保存先、ユーザー名の確認 (2016 共通) に進んでください。

5.5.1.2. Office 2016 のバージョン確認（クイック実行（Click to Run）のみ）

試験システムでサポートするクイック実行（Click to Run）形式の Office 2016 のバージョンは「16.0.7571.2109」です。

- ① コントロールパネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] から、インストール済みのプログラムの一覧を表示
- ② 「Microsoft Office Professional 2016 - ja-jp」または「Microsoft Office Professional Plus 2016 - ja-jp」を選択し、製品バージョンを確認

「16.0.7571.2159」より前のバージョンの場合 ⇒ ③に進んでください
 「16.0.7571.2159」より新しいバージョンの場合 ⇒ ⑧に進んでください
 「16.0.7571.2109」の場合 ⇒ ⑧から⑩のみ行ってください

- ③ Excel を起動して空白のブックを開く
- ④ ファイル > アカウント [更新オプション] をクリック
- ⑤ [今すぐ更新] を選択

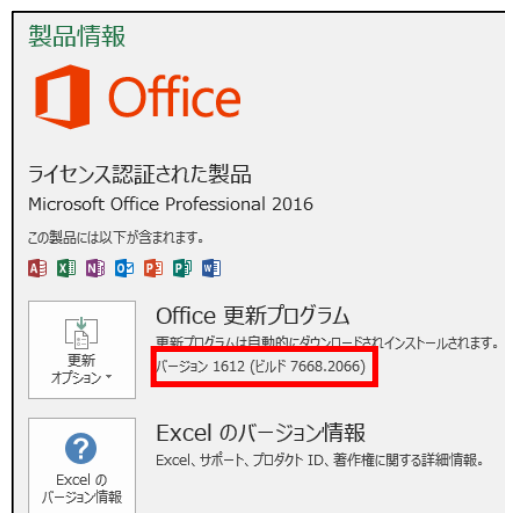


- ⑥ 更新が開始する（途中 Excel を終了してください、など表示されたら指示に従い、更新を完了させます。）

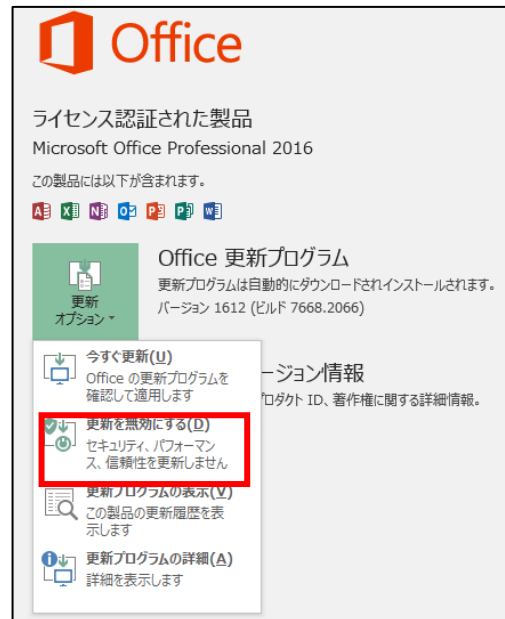


- ⑦ Excel を起動して空白のブックを開く
- ⑧ ファイル > アカウント を開き、バージョン情報を確認

*バージョンはインストールの日付により右の画像と異なる場合があります。

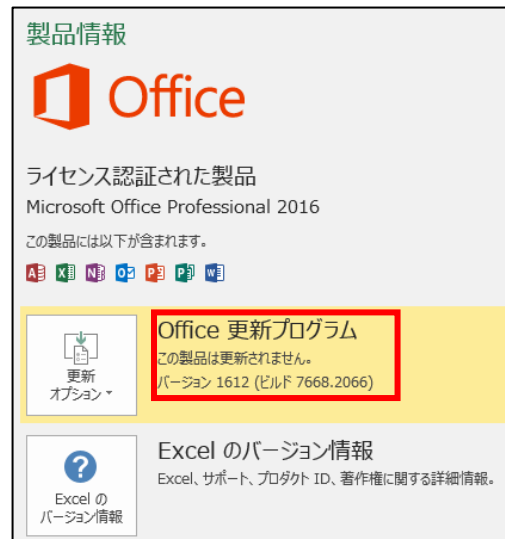


- ⑨ [更新オプション] をクリック
- ⑩ [更新を無効にする] を選択

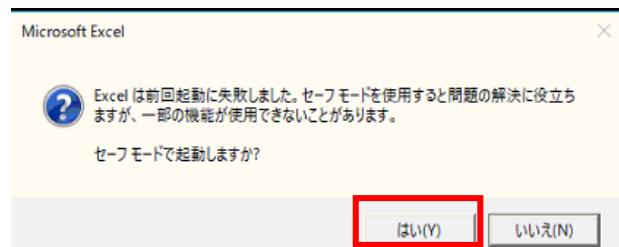


- ⑪ 「この製品は更新されません」の表示を確認

※続いてバージョンを戻す作業を行います。
バージョンが 16.0.7571.2109 の場合、⑫から⑰の作業は不要です。



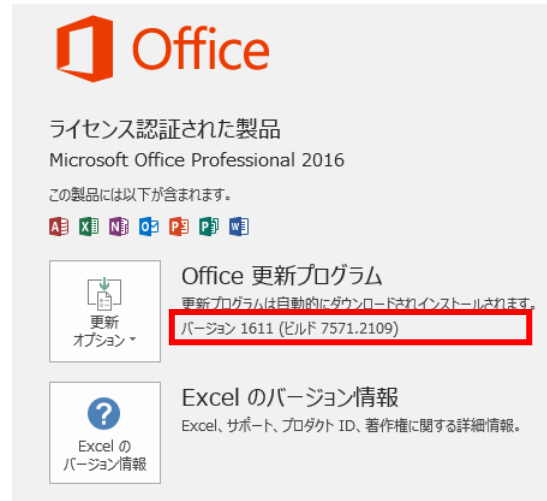
- ⑫ 会場サポートサイト TOP>試験システム>Office 2016 サポートバージョンに戻す手順に従い、指定のバージョンに戻す
- ⑬ 更新が終わったら、Excel 2016 を起動
- ⑭ 「セーフモードで起動しますか」のメッセージが表示されたら、[はい] をクリック
※メッセージが出ずに、通常起動した場合は、Word、PowerPoint の起動確認をお願いします。



- ⑮ 「最初に行う設定です。」のメッセージが表示されたら、[同意する] をクリック



- ⑯ ファイル > アカウント を開きバージョン 1611 (ビルド 7571.2109) になっていることを確認



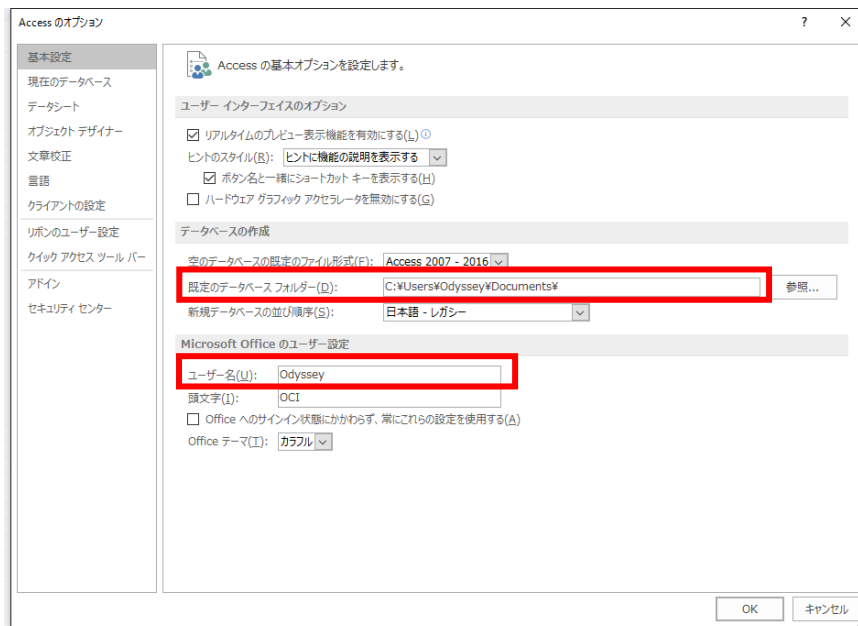
- ⑰ Excel を終了し、続いて Word、PowerPoint も⑬～⑯の手順を行う

5.5.2. データの保存先、ユーザー名の確認 (2016 共通)

各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されているか確認します。(本マニュアルでは、「Odyssey」という OS ユーザーアカウントを使用しています。) 同時に Office 2016 に登録したユーザー名も確認します。

【Access 2016】ファイル > オプション > 基本設定

【既定のデータベース フォルダー】に現在ログインしているユーザーアカウントが表示され、【ユーザー名】に Office に登録したユーザー名が表示されていることを確認



【Word 2016】ファイル > オプション > 保存

【自動回復用ファイルの場所】、【既定のローカルファイルの保存場所】、【サーバーのファイルの下書きの場所】に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【Excel 2016】ファイル > オプション > 保存

【自動回復用ファイルの場所】、【既定のローカルファイルの保存場所】、【サーバーのファイルの下書きの場所】に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

【PowerPoint 2016】ファイル > オプション > 保存

【自動回復用ファイルの場所】、【既定のローカルファイルの保存場所】、【サーバーのファイルの下書きの場所】に、現在ログインしているユーザーアカウントが表示されているか確認

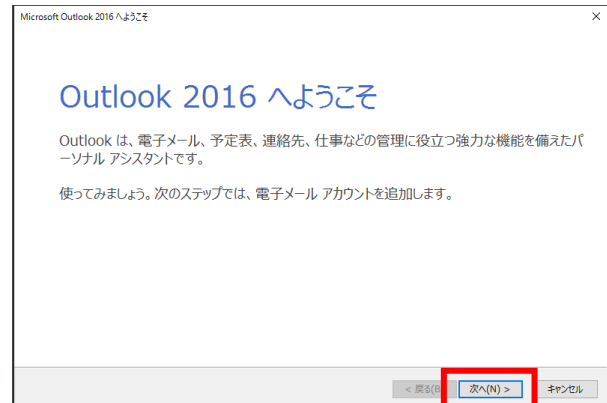
5.5.3. Outlook 2016 の設定 (2016 共通)

Outlook 2016 を起動して、以下の設定を行ってください。

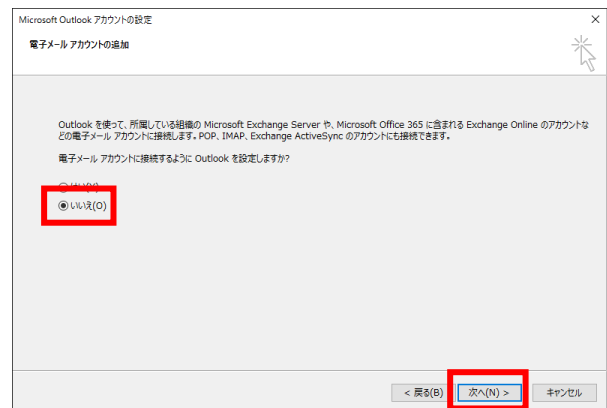
- 注意 1** Outlook 2016 の試験を実施する試験マシンでは、Outlook や他のメールソフトを使用して、実際に電子メールの送受信をしないでください。試験専用環境を構築してください。
- 注意 2** 既に Outlook 2016 にメールアカウントの登録がされている場合は、メールデータをバックアップ後にアカウントを削除してください。

① Outlook 2016 を起動

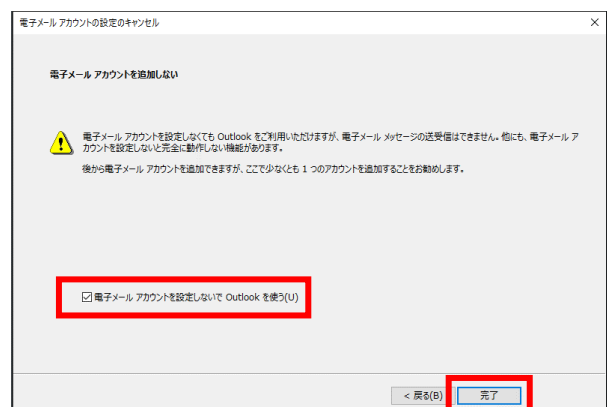
「Outlook 2016 へようこそ」画面が起動したら、
[次へ] ボタンをクリック



② [Microsoft Outlook アカウントの設定] ダイアログボックスが表示されたら、[いいえ] を選択して、[次へ] ボタンをクリック



③ [電子メール アカウントの設定のキャンセル] ダイアログボックスが表示されたら、[電子メールアカウントを設定しないで Outlook を使う] にチェックを入れて [完了] ボタンをクリック



④ Outlook 2016 を終了する

- 注意 !** Outlook を起動したときに「新しいアカウントが検出されました。インポートしますか？」のメッセージが表示された場合は、[いいえ] ボタンをクリックしてください。その後、Windows メールに登録されているメールアカウントを削除してください。

※設定が終了したら、「6.Adobe アプリケーションの設定(ACPro CC のみ)」または「7.その他の設定」にお進みください。

6. Adobe アプリケーションの設定(ACPro CC のみ)

6.1. アプリケーションのインストール

ACPro CC を実施する場合、第三者利用可能な Adobe CC ライセンス（共有デバイスライセンス）が必要です。

試験では以下のアプリケーションを使用します。必ず C ドライブにインストールしてください。

試験科目とアプリケーションのバージョンは一致している必要があります。例えば、Photoshop 2023 のみがインストールされた試験マシンでは、Photoshop 2024 の試験は実施できません。

	試験科目	アプリケーション	バージョン
2023	Visual Design using Adobe Photoshop 2023 (v24.x)	Adobe Photoshop 2023	24.0 ~ 24.4.1、 24.5、24.7、24.7.1 (24.3、24.6 は対象外)
	Graphic Design & Illustrator using Adobe Illustrator 2023 (v27.x)	Adobe Illustrator 2023	27.0 ~ 27.8.1
	Digital Video using Adobe Premiere Pro 2023 (v23.x)	Adobe Premiere Pro 2023	23.0 ~ 23.6
2024	Visual Design using Adobe Photoshop 2024 (v25.x)	Adobe Photoshop 2024	25.0、25.2 ~ 25.5.1、 25.7 ~ 25.12.4 (25.1、25.6 は対象外)
	Graphic Design & Illustrator using Adobe Illustrator 2024 (v28.x)	Adobe Illustrator 2024	28.0 ~ 28.7.10
	Digital Video using Adobe Premiere Pro 2024 (v24.x)	Adobe Premiere Pro 2024	24.0 ~ 24.6.8

注意 1 1 つの試験マシンで異なるバージョンの共存が可能です。
(例 Photoshop 2023 と Photoshop 2024 の試験を 1 つのマシンで実施)
サポートバージョン以外は共存させないでください。

注意 2 Adobe Express では、Adobe CC ライセンスやアプリのインストールは不要です。

6.2. 環境設定

- ① Adobe Creative Cloud を起動
- ② 右上のアカウント>環境設定 をクリック



- ③ [一般] タブの [ログイン時に Creative Cloud を起動] をオフにする



- ④ [アプリ] タブの [自動更新] をオフにする



- ⑤ [完了] ボタンをクリック

7. その他の設定

7.1. 不要なソフトウェア・ツールの削除、COM アドイン解除

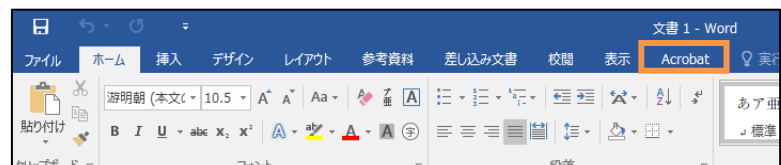
以下のソフトウェア等がインストールされていると、試験時のトラブルの原因となります。事前に削除してください。削除が難しい場合は、試験前に必ず機能停止または解除を行ってください。

- ・ 常駐・スタートアップ系ソフトウェア
- ・ 模擬試験ソフトウェア
- ・ 講座用ツール
- ・ 既定以外のフォント
- ・ ウイルス対策ソフト(試用版含む)
- ・ Adobe Acrobat Reader 以外の PDF ソフト
- ・ マシン起動時に各種設定を初期化するツールやソフトウェア (3.1 参照)
- ・ Microsoft Update Health Tools
- ・ Update for Windows 10 for x64-based System (KB5001716)

また、Office に追加されるアドインも試験トラブルの原因となります。

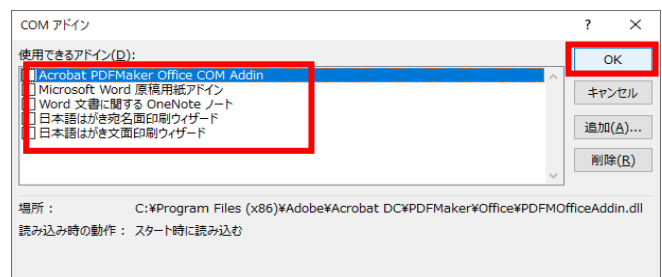
以下の手順で追加アドインの有無を確認し、事前にアドインを解除してください。

※Adobe Acrobat Pro のアドインによって[Acrobat]タブが追加された Word の例

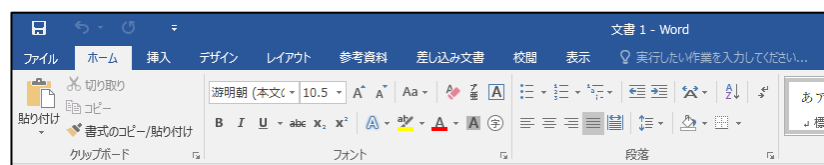


- ① Office アプリケーションを起動し、新規、または既存のファイルを開く
- ② [ファイル]> [オプション]を選択
- ③ オプション一覧の[アドイン]を選択
- ④ [管理]ドロップダウンメニューから[COM アドイン]を選択し、[設定]をクリック

- ⑤ 「COM アドイン」ダイアログボックス内でチェックが入っている項目があれば、全てチェックを外し、「OK」をクリック



- ⑥ アドイン追加によるタブが消えたことを確認したら、Office アプリケーションを終了



- ⑦ 全ての Office アプリケーションで①~⑥の作業を繰り返す

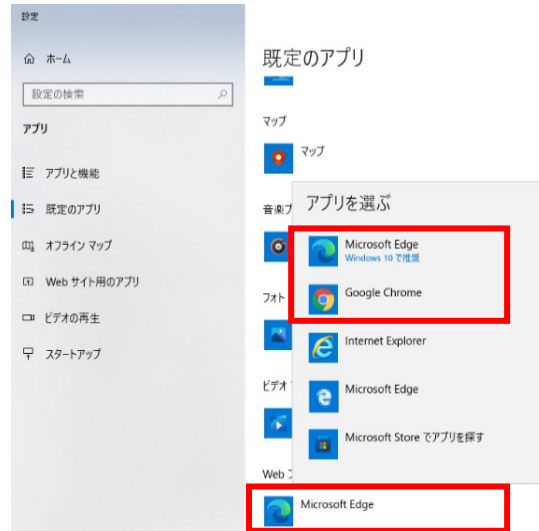
7.2. 既定のプログラムの設定

試験実施に必要なソフトウェアを既定のプログラムに設定します。

※Windows のバージョンにより、画面の表示が異なる場合があります。

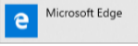
① コントロールパネル> [プログラム]> [既定のプログラム]> [既定のプログラムの設定]を選択

② 「Web ブラウザー」で設定されている項目をクリックして、「アプリを選ぶ」のメニューから [Google Chrome] または [Microsoft Edge(Chromium 版)] を選択



「切り替え前に～」のメッセージが表示された場合は、「強制的に変更する」を選択

注意!

 は Microsoft Edge レガシー版のアイコンです。
誤って選択しないようご注意ください。

③ 続いて、「メール」で設定されている項目をクリックして、「アプリを選ぶ」のメニューから「Outlook」または「Outlook 20XX」を選択

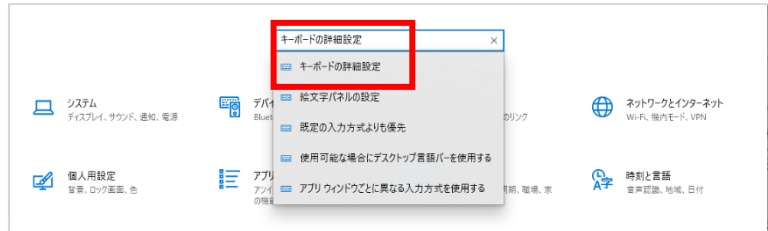


7.3. IME ツールバーの設定

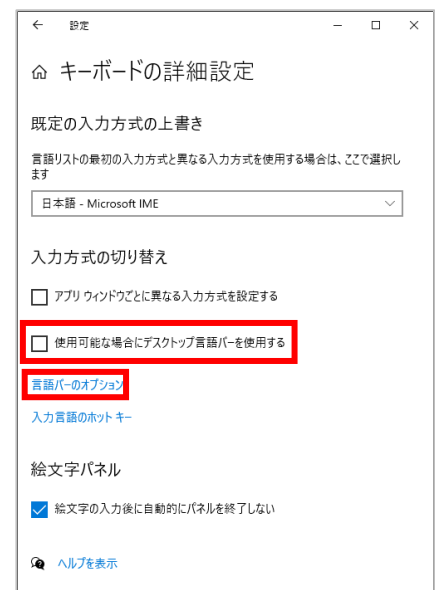
7.3.1. IME ツールバーをタスクバーに固定する設定

IME ツールバーをタスクバーに固定します。

- ① スタートボタンをクリック > 設定 (歯車のアイコン) > 検索ボックスに「キーボードの詳細設定」と入力し、表示された設定をクリック

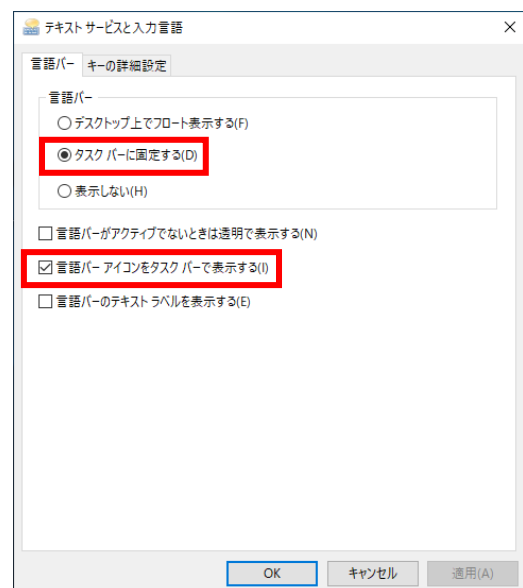


- ② 「使用可能な場合にデスクトップ言語バーを使用する」にチェックが入っていないことを確認する



- ③ [言語バーのオプション] をクリック

- ④ [言語バーアイコンをタスクバーで表示する] の項目と [タスクバーに固定する] にチェックを入れて [OK] ボタンをクリック



注意！ IME ツールバーはデスクトップ上にフロート表示せず、タスクバーに固定してください。

7.3.2. 画面中央に IME 入力モード切替の通知を表示する

初期設定では入力モード切替時の画面通知が表示されません。

以下の操作で通知が画面中央に表示されるように設定してください。

① タスクバーの文字入力アイコン[A あ]を右クリックし、[設定]をクリック

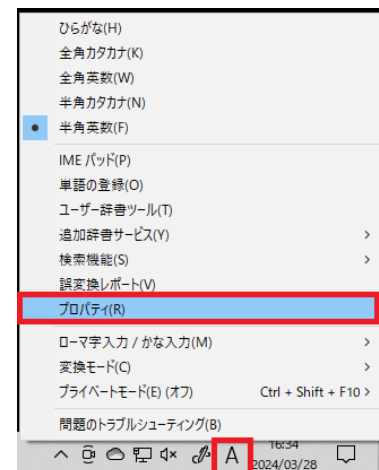
② [Microsoft IME]が表示されたら[全般]をクリック

③ 画面をスクロールし[以前のバージョンの Microsoft IME を使う]をオンにする

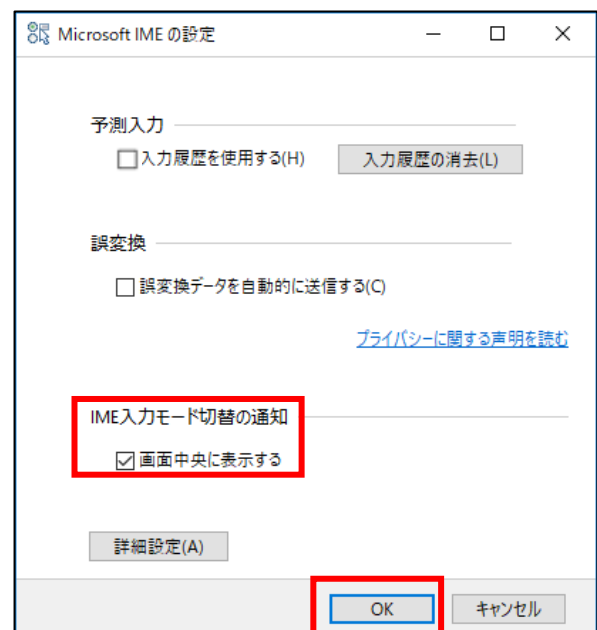


④ 「以前のバージョンの Microsoft IME を使いますか？」メッセージが表示されたら[OK]をクリック

⑤ タスクバーの文字入力アイコン[A あ]を右クリックし、[プロパティ]をクリック



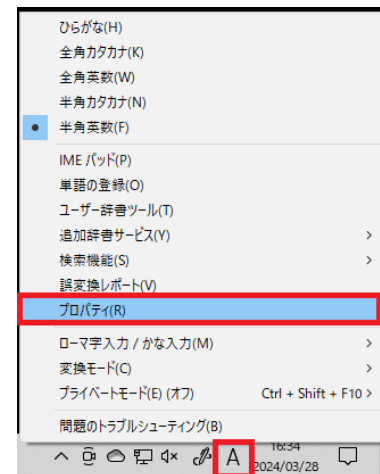
⑥ [IME 入力モード切替の通知]の[画面中央に表示する]にチェックを入れ、OK を押す



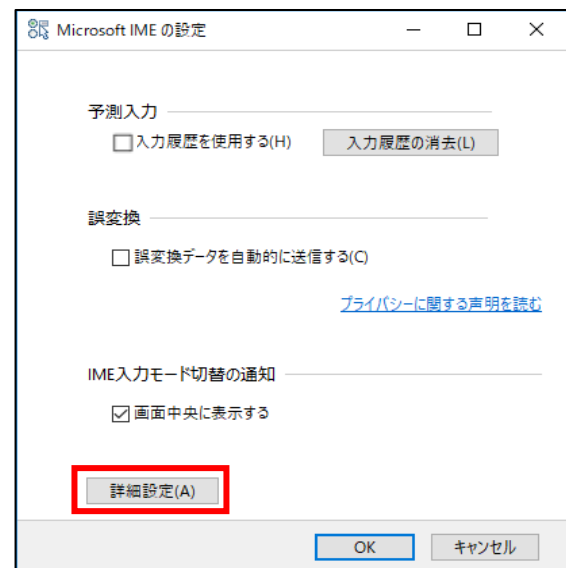
7.3.3. 予測入力を無効にする設定

試験中に予測入力がされないように設定します。

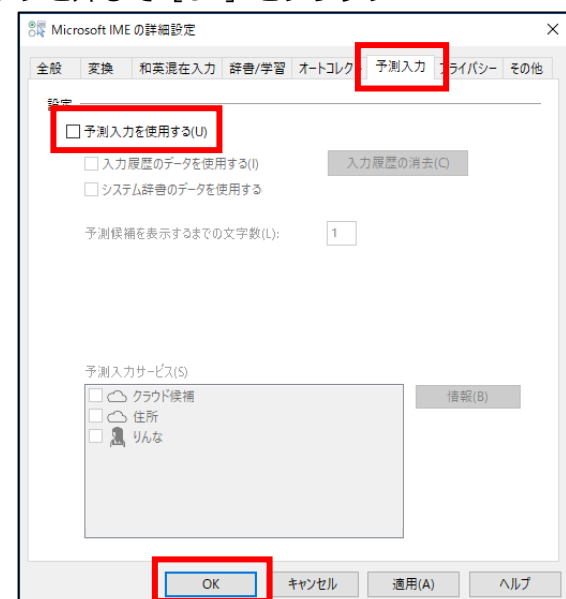
- ① タスクバーの文字入力アイコン[A あ]を右クリックし、[プロパティ]をクリック



- ② [詳細設定] をクリック



- ③ [予測入力] タブの [予測入力を使用する] のチェックを外して [OK] をクリック



7.4. Adobe Acrobat Reader の設定

7.4.1. Adobe Acrobat Reader のインストール

試験結果レポートを印刷するために Adobe Acrobat Reader のインストールが必須となります。

Adobe の Web サイト (<https://get.adobe.com/jp/reader/>) から最新の Adobe Acrobat Reader をダウンロードして、試験マシンにインストールしてください。

注意 1 サポートするバージョンは最新版です。バージョンが 19 より古い場合は最新版に更新してください。古いバージョンだと Compass が起動しません。

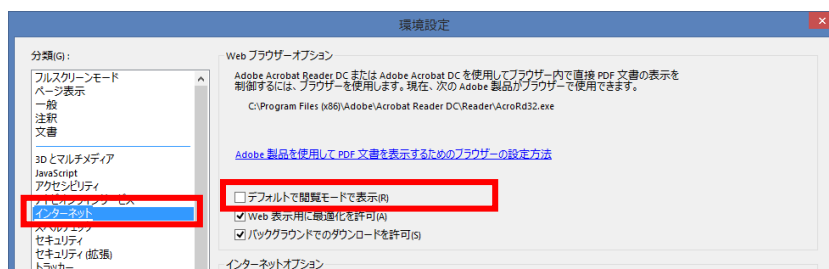
7.4.2. Adobe Acrobat Reader の設定

① Adobe Acrobat Reader を起動

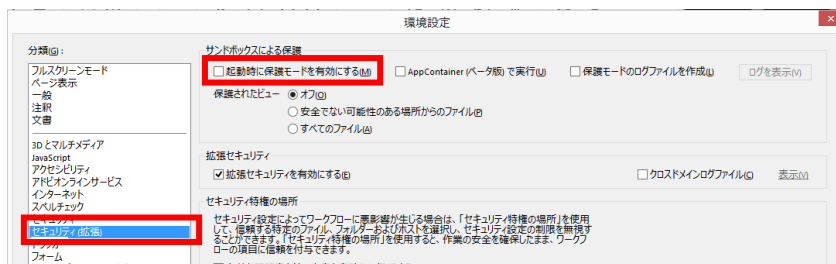
*既に試験マシンに Adobe Acrobat Reader がインストールされている場合は、メニューバー > [ヘルプ] > [アップデートの有無をチェック] をクリックして、最新版にアップデートしてください。

② メニューバー > [環境設定] をクリック

③ 左メニュー [分類] の [インターネット] > [デフォルトで閲覧モードで表示] のチェックを外す



④ 左メニュー [分類] の [セキュリティ (拡張)] > [起動時に保護モードを有効にする] のチェックを外す

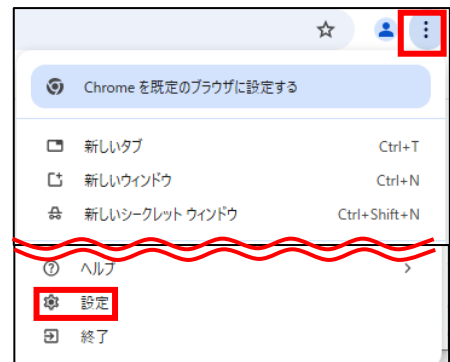


⑤ [OK] ボタンをクリック

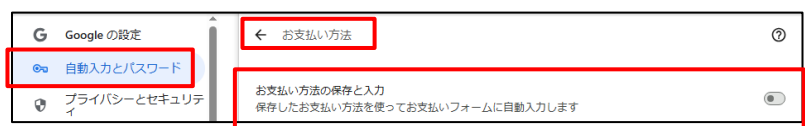
7.5. Google Chrome の設定

Google Chrome を使用する場合は以下の設定を行ってください。

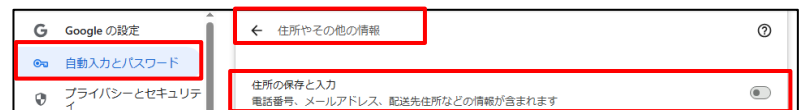
- ① Google Chrome を起動し、右上の [⋮] をクリックし [設定] を選択



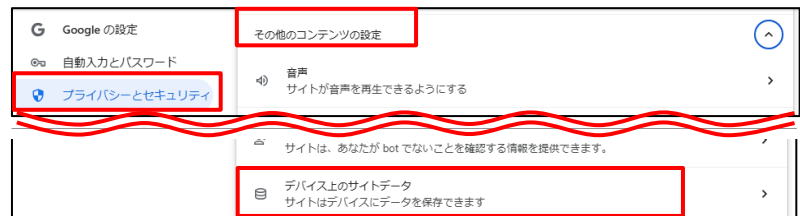
- ② [自動入力とパスワード] > [お支払い方法] を選択し、[お支払い方法の保存と入力] をオフにする



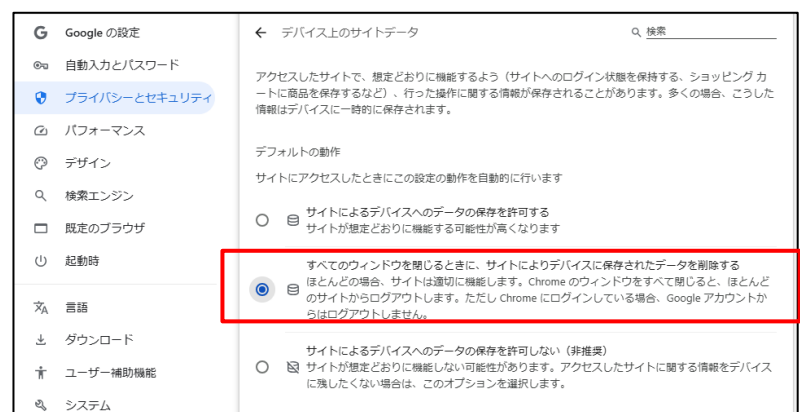
- ③ [自動入力とパスワード] > [住所やその他の情報] を選択し、[住所の保存と入力] をオフにする



- ④ [プライバシーとセキュリティ] > [サイトの設定] > [その他のコンテンツの設定] > [デバイス上のサイトデータ] を選択



- ⑤ [すべてのウィンドウを閉じるときに、サイトによりデバイスに保存されたデータを削除する] にチェックを入れる



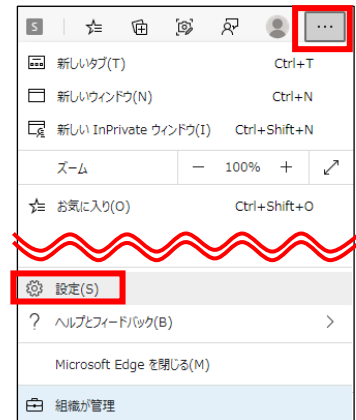
- ⑥ 設定タブを閉じる

注意！ Google Chrome を起動した場合は試験前に必ず終了し、閲覧データをクリアしてください。

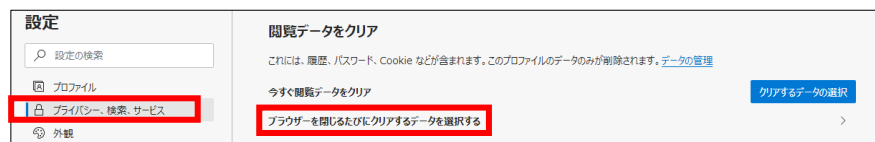
7.6. Microsoft Edge の設定

Microsoft Edge を使用する場合は以下の設定を行ってください。

- ① Microsoft Edge を起動し、右上の [...] をクリックし [設定] を選択



- ② [プライバシー、検索、サービス] を選択し、[閲覧データをクリア] > [ブラウザを閉じるたびにクリアするデータを選択する] をクリック



- ③ [Cookie およびその他のサイト データ] をオン (青い表示) に設定する



- ④ [パスワードとオートフィル] を選択し、[個人情報の保存とオートフィル] をオフに設定する



- ⑤ 設定タブを閉じる

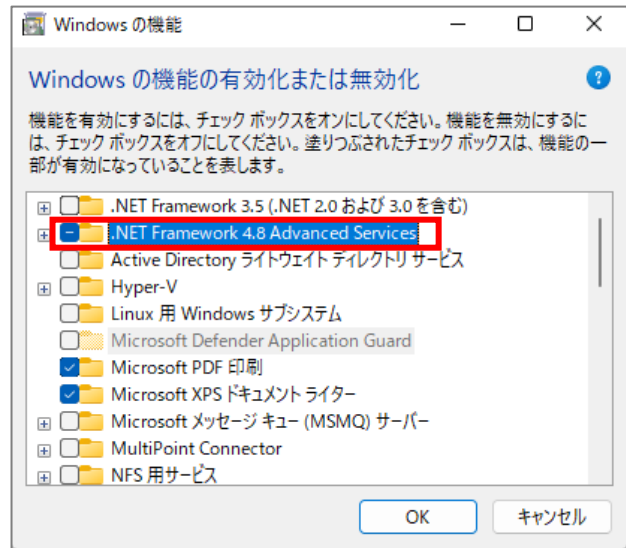
注意 1 サポートするバージョンは Chromium 版のみです。
レガシー版(2020年1月15日以前の Ver)は試験実施不可です。

注意 2 Microsoft Edge Chromium 版はブラウザ起動中のオートフィル機能を無効化できません。
Microsoft Edge を起動した場合は試験前に必ず終了し、閲覧データをクリアしてください。

7.7. Microsoft .NET Framework の確認

Microsoft .NET Framework 4.8 が有効になっていることを確認します。

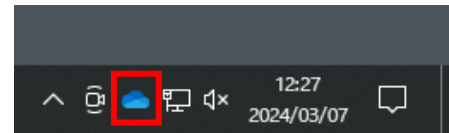
- ① コントロール パネル > [プログラム] > [Windows の機能の有効化または無効化] > をクリック
- ② [.NET Framework 4.8 Advanced Services] のチェックボックスがオンになっていることを確認
空欄の場合は、チェックボックスをクリックして有効にする



7.8. OneDrive のリンク解除

OneDrive のリンクを解除します。

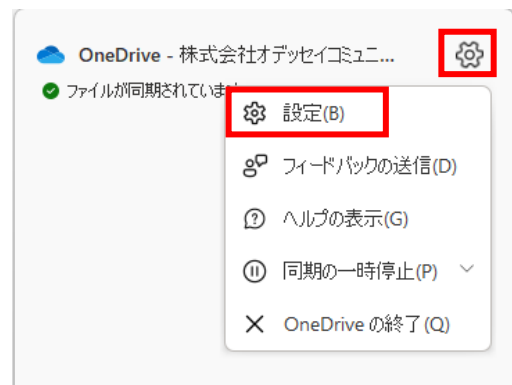
- ① タスクトレイから OneDrive のアイコンを選択



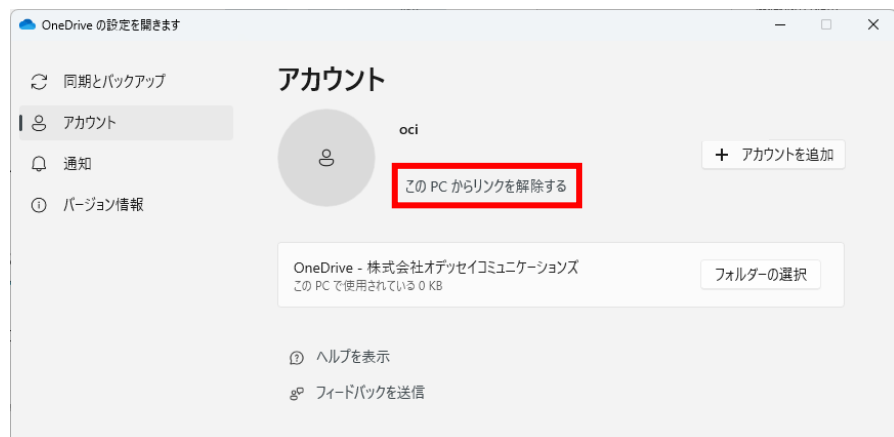
注意 1 「サインインしていません」と表示されている場合はこの後の手順は不要です。

注意 2 OneDrive のアイコンが表示されていない場合、OneDrive のアプリを起動してインジケータを表示してください。

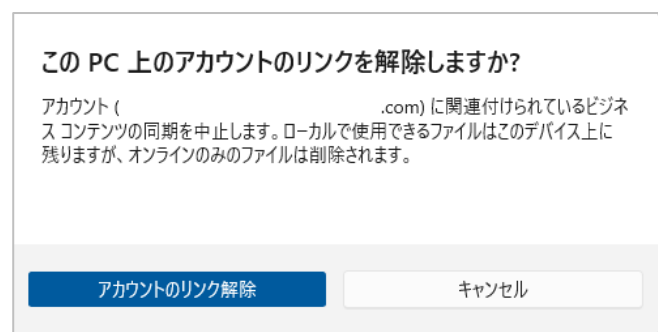
- ② 右上の [ヘルプと設定] アイコンをクリックし、[設定] を選択



- ③ [アカウント] タブの [この PC からリンクを解除する] をクリック



- ④ 「この PC 上のアカウントのリンクを解除しますか？」のメッセージが表示されたら、[アカウントのリンク解除] をクリック



注意！ 試験実施前には OneDrive のリンクを必ず解除してください。

7.9. 標準設定バッチファイル作成

Excel の数式バーの復元、IME の標準設定、ハイパーリンクのアドレス（履歴アドレス）などのクリアを行うバッチファイルを作成します。試験前にバッチファイルを実行して、設定を標準状態にもどしてください。

- ① 会場サポートサイト TOP> 試験マニュアル> Compass - セットアップマニュアル・標準設定バッチファイル に掲載している「標準設定バッチファイル」を任意のファイル名で任意の場所に保存
- ② 保存したファイル名の拡張子「.txt」を「.bat」に変更
- ③ 作成したバッチファイルを管理者として実行

注意！ 作成したバッチファイルをスタートアップに追加すると、試験中にトラブルなどでマシンを再起動した場合、再開後に試験中の作業履歴などが初期化されてしまうため、スタートアップには追加しないでください。

8. Compass の設定

8.1. Compass のセットアップの流れ

Compass のセットアップ方法の大きな流れは以下の通りです。本マニュアルに従い、漏れのないように各設定を行ってください。

1. Compass のインストール

2. 初期設定（試験会場、更新のタイミングの設定）

3. アップデートの適用

4. 試験コンポーネントをダウンロード

5. マシンを再起動して Compass に再ログイン

6. （MOSのみ）リハーサル試験を実施

注意！

試験官以外の方が Compass のセットアップを行う場合は、技術担当者として登録が必要です。サポート窓口までご連絡ください。

8.2. Compass のインストール

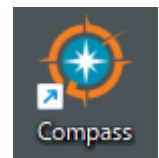
- ① インストール前に Windows 10 の設定、Office の設定が正しくされているか確認
- ② Adobe Acrobat Reader がインストールされていることを確認
※Adobe Acrobat Reader 以外の Reader はご利用になれません。
- ③ 会場サポートサイトで案内する方法でダウンロードした「Compass_Setup.exe」をダブルクリック
*古いセットアップファイルは使用せず、必ず最新版を利用してください。
- ④ ユーザーアカウント制御のメッセージが表示されるので、[はい] を選択
- ⑤ インストールウィザードが起動したら、「言語の選択」が **[Japanese]** になっていることを確認して [次へ] ボタンをクリック
- ⑥ インストール先のパスが「**C:¥Certiport¥Compass**」であることを確認して、[次へ] ボタンをクリック
※ インストール先は、変更しないでください。
- ⑦ インストール完了の画面が表示されたら、[完了] ボタンをクリック

8.3. 試験環境の準備

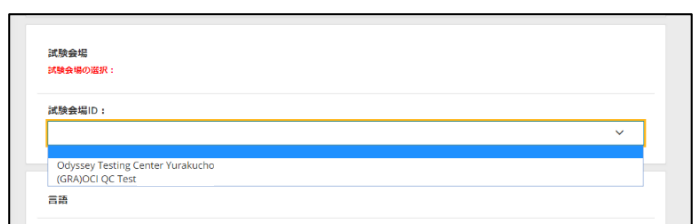
Compass をインストール後、試験会場の設定とアップデートを行い、試験コンテンツのダウンロードを行います。更新ファイルがある場合は、アップデートの通知が自動的に表示されます。

8.3.1. 初期設定（試験会場と更新のタイミングの設定）

- ① デスクトップの「Compass」ショートカットアイコンをダブルクリック
- ② ユーザーアカウント制御のメッセージが表示されたら、[はい] を選択
- ③ 試験官の受験者 ID とパスワードを入力して [ログイン] ボタンをクリック



- ④ 「設定」リンクをクリック
「試験会場 ID :」一覧から、試験を実施する試験会場を選択



- ⑤ 「更新のタイミング」は「手動」を選択

- ⑥ プロキシ利用の場合は、必要事項を入力

参考！ 設定指示がないその他の項目は設定不要です。

- ⑦ 画面最下部の [Save] ボタンをクリック

- ⑧ Compass のログイン画面に切り替わるので、左上の会場名を確認

続いてアップデート作業を行ってください。

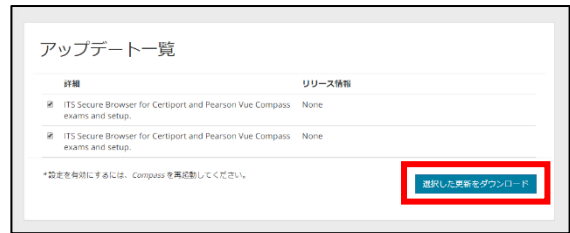
8.3.2. アップデートの適用

インストール時の状況により、アップデートの適用作業が不要な場合があります。

「試験関連の更新/システム」に「更新はありません」と表示されている場合は、「8.3.3. 試験のダウンロード」に進んでください

- ① 試験官の受験者 ID でログイン
- ② 「管理者 ホーム」が表示される
- ③ 「更新リスト」リンクをクリック

- ④ アップデート一覧が表示されたら、[選択した更新をダウンロード] ボタンをクリック



注意 1 弊社からの案内がない限り項目のチェックは外さないでください。

注意 2 アップデートがない場合は、「更新はありません」と表示されます。

- ⑤ 更新が終わると「更新はありません」と表示される



続いて試験のダウンロードを行ってください。

注意 1 更新終了とともに Compass が自動終了する場合があります。Compass を再起動して試験官の受験者 ID でログインし、「試験関連の更新/システム」に「更新はありません」と表示されていることを確認してください。

注意 2 App Development with Swift を実施する場合は、**エラー! 参照元が見つかりません。** ~8.4.までの手順を別冊「Swift 用 設定手順書」に置き換えて設定を行ってください。

8.3.3. 試験のダウンロード

- ① [試験の管理] をクリック



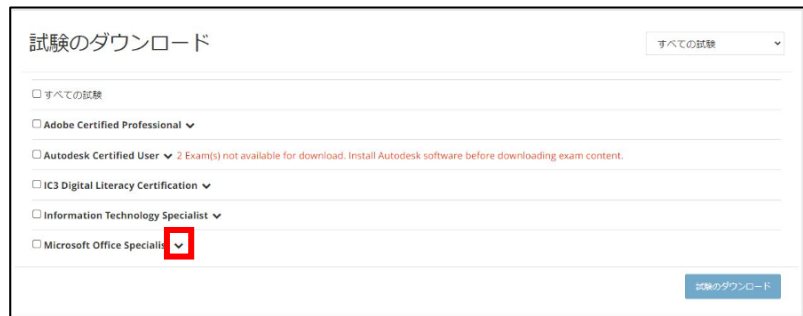
- ② [試験をダウンロードする] ボタンをクリック



- ③ 右上のドロップダウンリストから[すべての試験]を選択



④ 実施する試験の[v]ボタンをクリックし、試験科目を表示



注意！

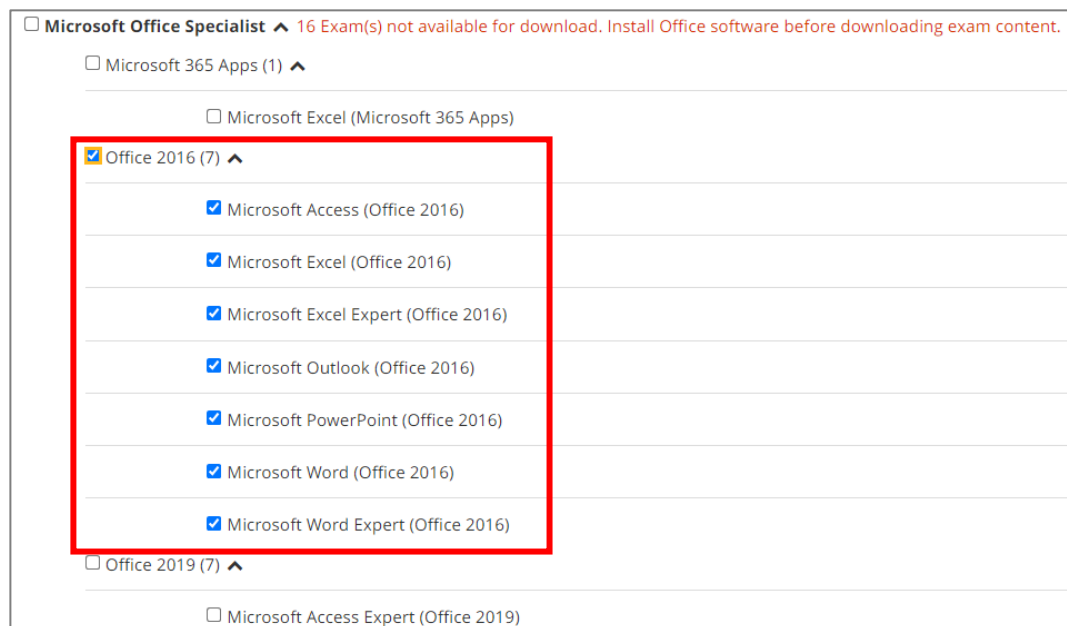
MOS と ACPro CC は [v] ボタンをクリックせずにチェックを入れると、すべてのバージョンの試験科目がダウンロードされます。実施しない科目をダウンロードすると、科目選択間違い・インベントリ誤使用の要因となります。

必ず [v] ボタンをクリックし、実施する試験のみにチェックをいれてください。

誤ったバージョンをダウンロードした場合は、⑧の参考 2 を参照して削除してください。

⑤ 実施する試験のみにチェックをいれて、「試験のダウンロード」ボタンをクリック

【MOS 2016 を実施する場合】



注意！

MSFUND、MCE、ACPro Express は試験のダウンロードをせずに試験を実施できる為、試験のダウンロード画面に表示されません。

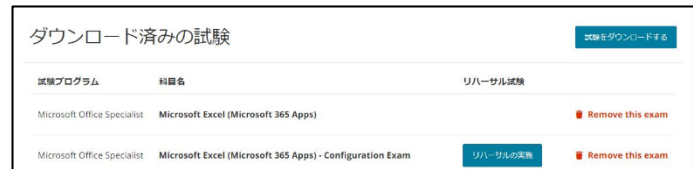
⑥ 試験のダウンロードがはじまる



- ⑦ ダウンロードが完了したら、[試験の管理] をクリック



- ⑧ ダウンロード済の試験の一覧が表示される



MOS を実施する場合は、続いてリハーサル試験を行ってください。

参考 1 試験マシンが複数ある場合は、「8.7 更新ファイルのインポートとエクスポート」の項目を参照してください。

参考 2 誤った科目をダウンロードしてしまった場合は [Remove this exam] をクリックして削除してください。

8.4. リハーサル試験の実施（MOS のみ）

リハーサル試験を実施して、試験プログラムが正常に起動するか確認します。

（MOS 以外の試験にリハーサル試験はありません。）

- ① 試験官の受験者 ID でログイン
- ② 「試験の管理」をクリック
- ③ リハーサルを実行する科目の「リハーサルの実施」ボタンをクリック
- ④ リハーサル試験が開始する

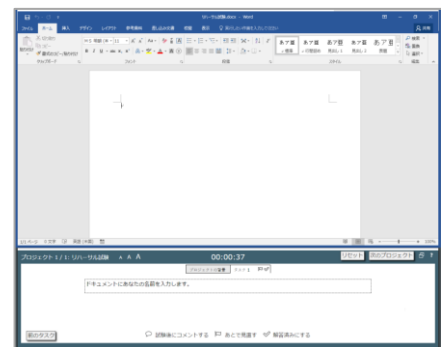
ダウンロード済みの試験			試験をダウンロードする
試験プログラム	科目名	リハーサル試験	
Microsoft Office Specialist	Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps)		Remove this exam
Microsoft Office Specialist	Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps) - Configuration Exam	リハーサルの実施	Remove this exam

【MOS 2016】

チュートリアルは本試験と同じものが表示されます。

リハーサルの試験時間は 1 分です。言語バーが非表示化されるので、実際に文字を入力して半角/全角キーで切り替えができるかなどを確認してください。

試験後のコメント画面では何も入力せずに、リハーサル試験を終了してください。



【MOS 2019/365】

チュートリアルは本試験と同じものが表示されます。

リハーサルの試験時間は無制限です。

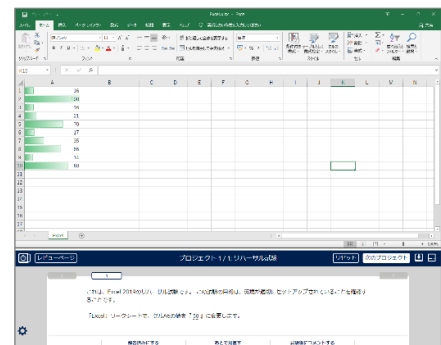
言語バーが非表示化されるので、実際に文字を入力して半角/全角キーで切り替えができるかなどを確認してください。

IME ツールバーをフロート設定にしていると表示異常が発生します。必ずタスクバーに格納してください。

グレースアウトして使用できないタブ機能が無いかをご確認ください。

確認が完了したら、リハーサル試験を終了してください。

※ Outlook 2019 のリハーサルは「Microsoft Outlook (Office2016)-Configuration Exam」または「Microsoft Outlook (Office2019)-Configuration Exam」を使用してください。どちらを使用しても動作を確認できます。



- ⑤ リハーサル試験を終了すると「試験の管理」画面に戻り、リハーサルを実施した科目の横にチェックマークが表示される

ダウンロード済みの試験			試験をダウンロードする
試験プログラム	科目名	リハーサル試験	
Microsoft Office Specialist	Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps)		Remove this exam
Microsoft Office Specialist	Microsoft Excel (Microsoft 365 Apps) - Configuration Exam	リハーサルの実施	Remove this exam

注意 1

リハーサル試験では、試験結果レポートの印刷確認画面は表示されません。試験官の受験者 ID で Certipoint Web Portal にログインして、ご自身のデジタル認定証ページから、試験結果レポートを表示・印刷できるかご確認ください。

注意 2

リハーサル試験を実施した後に表示されるチェックマークは、管理者画面の違うメニューを表示させると表示がリセットされます。

8.5. 試験会場の変更

試験会場の変更が必要な場合は、下記の手順で試験会場の設定を変更してください。

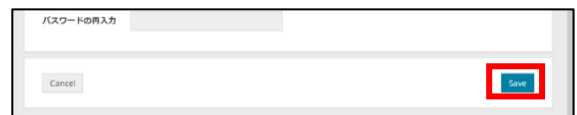
- ① Compass に試験官の受験者 ID でログイン
- ② 「管理者 ホーム」が表示されるので、[設定] をクリック



- ③ 「試験会場 ID:」のドロップダウンリストから変更する会場を選択



- ④ 画面最下部の [Save] ボタンをクリック



- ⑤ Compass のログイン画面に切り替わるので、左上の会場名を確認する



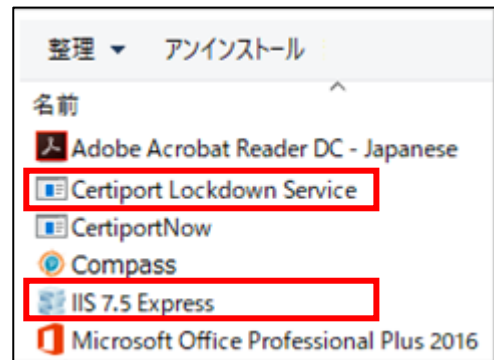
8.6. IC3 GS5 の事前確認

IC3 GS5 は試験のダウンロード時に試験の実施に必要なソフトウェアがインストールされます。付属するソフトウェアが正しくインストールされているか、試験前に必ずご確認ください。

注意！ IC3 GS5 を未ダウンロードの場合は、「8.3.3. 試験のダウンロード」の手順でダウンロードしてください。

8.6.1. 付属のソフトウェアのインストール確認

- ① コントロール パネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] をクリック
- ② プログラムの一覧で、Compass のほかに下記のソフトウェアがインストールされていることを確認
 - Certiport Lockdown Service
 - IIS 7.5 Express

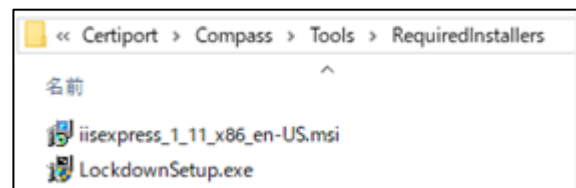


注意！ IC3 **GS5** のみで必要なソフトウェアです。GS6 の試験ダウンロードではインストールされません。

8.6.2. 付属ソフトウェアの再インストール

IC3 の実施に必要なソフトウェアがインストールされていない、正常に動作しないなどの場合は、以下の手順で付属のソフトウェアを再インストールしてください。

- ① C:¥Certiport¥Compass¥Tools¥RequiredInstallers フォルダを開く
- ② 不足しているソフトウェアのインストーラー (*.msi または *.exe) をダブルクリック
- ③ インストーラーに従ってソフトウェアをインストール



注意！ インストール後、必ず試験マシンを再起動してください。

8.7. 更新ファイルのインポートとエクスポート

試験マシンが複数ある場合、2 台目以降のマシンの更新は、インポートとエクスポートの機能を利用されることをお勧めします。

8.7.1. 更新ファイルのエクスポート（1 台目マスター用の準備）

マスター用マシンで更新データを保存したフォルダー「SoftwareUpdate」を作成します。
この「SoftwareUpdate」フォルダーは、異なる OS 間でも利用可能です。ただし、MOS を実施される場合は、Office のバージョンごとに作成してください。

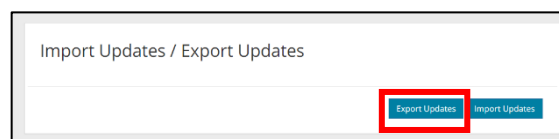
例) Windows 10 + Office 2016 マシンで全試験を更新し、作成した場合
 インポート先 Windows 10 + Office 2019 マシン →利用不可
 Windows 11 + Office 2016 マシン →全試験更新可能

注意！ 最新版のセットアップファイルで構築したマシンをマスター用マシンとして準備してください。旧バージョンからアップデートしたマシンはエクスポートに利用しないでください。

- ① 「8.2. Compass のインストール」～「8.6. IC3 の事前確認」まで設定を終えたマスター用マシンを準備する
- ② マスター用マシンの Compass に試験官の受験者 ID でログイン
- ③ [Import/Export] タイルをクリック

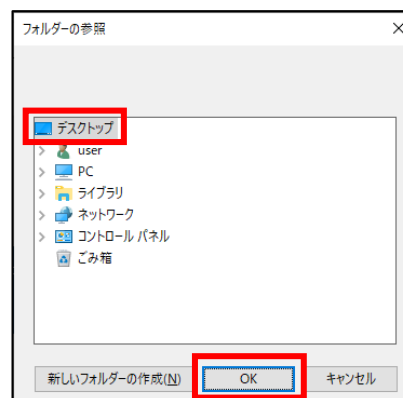


- ④ [Export Updates] ボタンをクリック

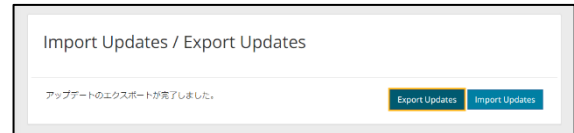


- ⑤ [フォルダーの参照] ダイアログボックスで、エクスポートするファイルの保存先に「デスクトップ」を選択して、[OK] ボタンをクリック

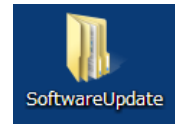
注意！ ネットワークドライブなどを指定すると、保存に失敗する可能性があります。



- ⑥ 「アップデートをエクスポートしています。」のメッセージが表示される
- ⑦ 「アップデートのエクスポートが完了しました。」のメッセージが表示されたら、Compass を閉じる



- ⑧ デスクトップに「SoftwareUpdate」フォルダーが作成されていることを確認



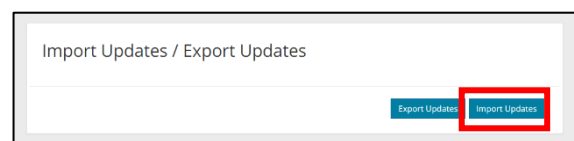
8.7.2. 更新ファイルのインポート（2 台目以降のマシン）

- ① インポートを行う 2 台目以降のマシンのデスクトップに「更新」フォルダーを作成する
 参考！ 「更新」フォルダーは、リムーバブルメディアなどに作成することも可能です。
- ② 作成した「更新」フォルダーに、「8.7.1. 更新ファイルのエクスポート」で作成した「SoftwareUpdate」フォルダーを保存する
- ③ インポートを行うマシンに「8.2.Compass のインストール」～「8.3.1. 初期設定（試験会場と更新のタイミングの設定）」までの設定を行う

- ④ 管理者メニューで、[Import/Export] タイルをクリック

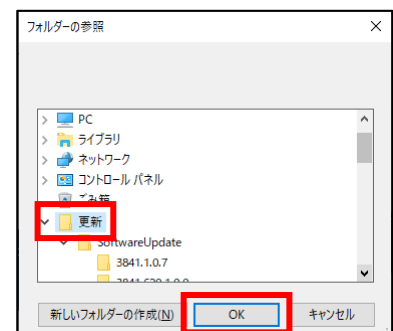


- ⑤ [Import Updates] ボタンをクリック

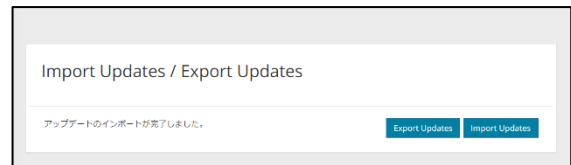


- ⑥ [フォルダーの参照] ダイアログボックスで、①で作成した「更新」フォルダーを選択して [OK] ボタンをクリック

※ 「SoftwareUpdate」フォルダーを選択しないでください。
アップデートに失敗します。



- ⑦ 「アップデートをインポートしています。」のメッセージが表示されたのちに、「アップデートのインポートが完了しました。」が表示されたら、Compass を閉じる



注意！ 一度 Compass を再起動しないとインポートが反映されません。

- ⑧ Compass を起動し、試験官の受験者 ID でログイン
⑨ 「試験の管理」をクリック



- ⑩ ダウンロード済の試験の一覧を確認する

MOS 実施の場合は、続けてリハーサル試験を行ってください。

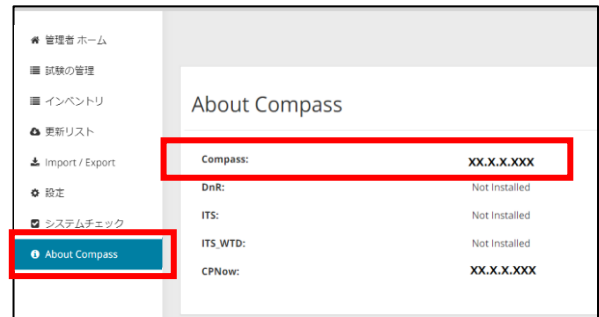


8.8. その他の項目について

8.8.1. About compass

メニュー [About compass] では Compass のバージョンを確認できます。

最新のバージョン情報については会場サポートサイト TOP>試験システム>Compass（セットアップファイルのダウンロード、アップデート情報）をご確認ください。



8.8.2. システムチェック

システムや Office の状態が確認できます。インストールされている Office 製品の環境により表記が異なります。

クイック実行 (Click to Run) 形式の場合

[Office Compatibility] の欄にてインストールされている Office 製品のバージョンを確認できます。サポートしているバージョンではない場合、指定のバージョンに戻してください。



Windows インストーラー (MSI) 形式の場合

「Compatibility Error」と表示されますがトラブルではありません。指定バージョンになっているかは別途ご確認ください。サポートしているバージョンではない場合、指定のバージョンに戻してください。



システムチェックで以下エラーが表示されていても、問題ありません。

参考 1



参考 2 Office Compatibility で ! が表示されていても、指定のバージョンであれば問題ありません。

参考 3 [Configuration Exams] からも MOS のリハーサル試験が実施できます。

8.9. Compass のアンインストール

Compass をアンインストールするときは、必ず下記の手順で行ってください。

- ① デスクトップのタスクバーにある、[エクスプローラー] アイコンをクリック
- ② [ドキュメント] を右クリック > プロパティを選択して [ドキュメントのプロパティ] を開く
- ③ 場所のタブをクリック
- ④ 「C:\Users\%○○○%\Documents」の○○○の箇所が現在ログインしているユーザーアカウントと同じであることを確認
- ⑤ 違う場合は [標準に戻す] ボタンをクリック



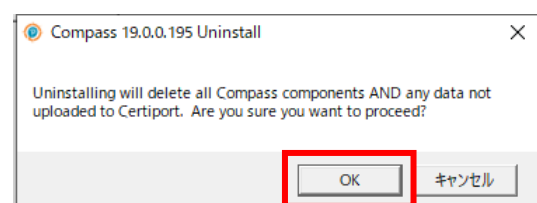
注意! 既定の場所に設定されていないと、Compass のアンインストールに失敗します。
必ずドキュメント フォルダが既定の場所にあることを確認してください。

- ⑥ コントロール パネル > [プログラム] > [プログラムのアンインストール] をクリック
- ⑦ Compass を選択して、[アンインストール] をクリック



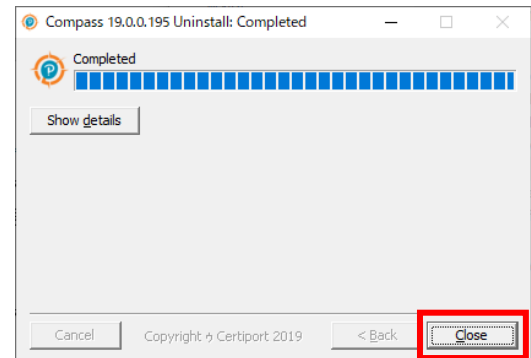
- ⑧ アンインストール作業の続行を確認するメッセージが表示されたら [OK] ボタンをクリック

*バージョン番号は更新状況により変わります。



- ⑨ アンインストールが開始される
⇒次のページの⑩に進んでください。

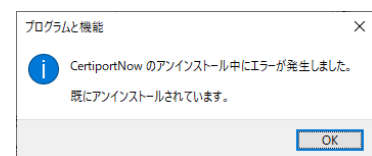
- ⑩ 「Completed」が表示されたら、[Close] ボタンをクリック



- ⑪ 続いて、以下のプログラムを同様にアンインストール
- CertiportNow
 - Certiport Lockdown Service (インストールされている場合)
 - IIS 7.5 Express (インストールされている場合)

注意 1

「CertiportNow」のアンインストールでエラーが表示された場合は、[OK] をクリックしてメッセージを閉じてください。



注意 2

上記以外に「Certiport」と付いたプログラムがインストールされている場合は、合わせてアンインストールしてください。

- ⑫ **C:¥Certiport¥Compass フォルダを削除**
- ⑬ **64bit 版 C:¥Program Files (x86)¥Certiport フォルダを削除**
32bit 版 C:¥Program Files¥Certiport フォルダを削除
- ⑭ **マシンを再起動**

注意 ! ⑫と⑬の2つの Certiport フォルダの削除を忘れないでください。

9. 設定チェックリスト

9.1. 必要システム構成

9.1.1. MOS、IC3 など (ACPro CC 以外)

システム		必要構成	✓
CPU		デスクトップパソコン用のマルチコアプロセッサ *1 Windows エクスペリエンス インデックス 5.0 以上 (6 以上推奨)	<input type="checkbox"/>
RAM		8GB 以上	<input type="checkbox"/>
HDD・SSD		C ドライブの設定容量 100GB 以上推奨 空きデータ領域 15GB 以上推奨	<input type="checkbox"/>
OS *2		Windows 10 Pro 64 ビット版 ・ 2022 Update バージョン 22H2	<input type="checkbox"/>
Office	365	Microsoft 365 Apps for enterprise 64 ビット版 (Version 2408) *3 Microsoft 365 Apps for business 64 ビット版 (Version 2408) *3 Office Professional 2021 64 ビット版 (Version 2408) *4	<input type="checkbox"/>
	2019	Microsoft Office Professional Plus 2019 64 ビット版 (Version 1808) Microsoft Office Professional 2019 64 ビット版 (Version 1908)	<input type="checkbox"/>
	2016	Microsoft Office Professional Plus 2016 32 ビット版 (16.0.4266.1001) Microsoft Office Professional 2016 32 ビット版 (16.0.7571.2109)	<input type="checkbox"/>
画面 *5	サイズ	17 インチ以上	<input type="checkbox"/>
	解像度	基本：1280×1024 以上 (ワイド画面可) *6 ITS、MCE、MSFUND、IC3、CCST、Swift：1024×768 利用可	<input type="checkbox"/>
	文字サイズ	100%	<input type="checkbox"/>
キーボード		JIS 配列 日本語キーボード (106 以上)	<input type="checkbox"/>
マウス		光学式 2 ボタンホイールマウス	<input type="checkbox"/>
プリンター		試験マシンから 300dpi 以上の A4 サイズで印刷可能なこと	<input type="checkbox"/>
OS アカウント		Administrator 権限のあるユーザーでセットアップ、試験実施	<input type="checkbox"/>
通信環境		インターネット常時接続	<input type="checkbox"/>
		HTTP (80 ポート) および HTTPS (443 ポート) で、双方向通信を確立	<input type="checkbox"/>
その他のソフトウェア		Google Chrome または Microsoft Edge Chromium 版 *7	<input type="checkbox"/>
		Adobe Acrobat Reader	<input type="checkbox"/>
		Microsoft .NET Framework 4.7 以上	<input type="checkbox"/>

*1 ノート PC の場合、外付モニタ、キーボード、マウスが必要です (参考：会場サポートサイト TOP>よくあるご質問>会場契約・登録変更>登録マシンについて(ノート PC の登録))

*2 Windows 10 Pro 以外のエディションはサポート対象外です。

*3 Web アプリ版は実施不可。

*4 LTSC 版は実施不可。

*5 複数のモニタ接続は不可。接続している場合は、サブモニタの電源を切ってください。

*6 MOS はアプリケーション画面が著しく小さくなるため、1024×768 は利用できません。

*7 レガシー版(2020 年 1 月 15 日以前の Ver)は試験実施不可。

9.1.2. ACPro CC

システム		必要構成 *1	✓
CPU		デスクトップパソコン用のマルチコアプロセッサ *2 Windows エクスペリエンス インデックス 5.0 以上 (6 以上推奨)	<input type="checkbox"/>
RAM		8GB 以上	<input type="checkbox"/>
HDD・SSD		Cドライブの設定容量 100GB 以上 空きデータ領域 15GB 以上推奨	<input type="checkbox"/>
OS *3		Windows 10 Pro 64 ビット版 ・ 2022 Update バージョン 22H2	<input type="checkbox"/>
Adobe CC *4	2023	Adobe Creative Cloud 2023 ・ Photoshop 2023 Version 24.0 ~ 24.4.1、24.5、24.7、24.7.1 (24.3、24.6 は対象外) ・ Illustrator 2023 Version 27.0 ~ 27.8.1 ・ Premiere Pro 2023 Version 23.0 ~ 23.6	<input type="checkbox"/>
	2024	Adobe Creative Cloud 2024 ・ Photoshop 2024 Version 25.0、25.2 ~ 25.5.1、25.7 ~ 25.12.4 (25.1、25.6 は対象外) ・ Illustrator 2024 Version 28.0 ~ 28.7.10 ・ Premiere Pro 2024 Version 24.0 ~ 24.6.8	<input type="checkbox"/>
画面 *5	サイズ	17 インチ以上	<input type="checkbox"/>
	解像度	ワイド画面 1280×800 以上(推奨：1920×1080)	<input type="checkbox"/>
	文字サイズ	100%	<input type="checkbox"/>
キーボード		JIS 配列 日本語キーボード (106 以上)	<input type="checkbox"/>
マウス		光学式 2 ボタンホイールマウス	<input type="checkbox"/>
プリンター		試験マシンから 300dpi 以上の A4 サイズで印刷可能なこと	<input type="checkbox"/>
OS アカウント		Administrator 権限のあるユーザーでセットアップ、試験実施	<input type="checkbox"/>
通信環境		インターネット常時接続	<input type="checkbox"/>
		HTTP (80 ポート) および HTTPS (443 ポート) で、双方向通信を確立	<input type="checkbox"/>
その他のソフトウェア		Google Chrome または Microsoft Edge Chromium 版 *6	<input type="checkbox"/>
		Adobe Acrobat Reader	<input type="checkbox"/>
		Microsoft .NET Framework 4.7 以上	<input type="checkbox"/>

*1 ACPro を実施する場合、Adobe 公式サイトで公開されている各アプリケーションの必要システム構成に準拠してください。

*2 ノート PC の場合、外付モニタ、キーボード、マウスが必要です (参考：会場サポートサイト TOP>よくあるご質問>会場契約・登録変更>登録マシンについて(ノート PC の登録))

*3 Windows 10 Pro 以外のエディションはサポート対象外です。

*4 第三者利用可能な Adobe CC ライセンス (共有デバイスライセンス) が必要です。

*5 複数のモニタ接続は不可。接続している場合は、サブモニタの電源を切ってください。

*6 レガシー版(2020 年 1 月 15 日以前の Ver)は試験実施不可。

9.2. Windows 10 の設定

項目	確認内容	✓
インストール場所	Cドライブにインストールされている	<input type="checkbox"/>
各種ドライバー	Windows 10 対応のドライバーがインストールされている	<input type="checkbox"/>
Windows Update	セットアップ後にリリースされたその他アップデートが適用されていない	<input type="checkbox"/>
試験用のユーザーアカウント	試験用のユーザーアカウントを Administrator 権限で作成して、セットアップを行っている	<input type="checkbox"/>
自動更新の無効化 (グループポリシーの設定)	グループポリシーエディター> コンピューターの構成 > 管理用テンプレート > Windows コンポーネント > Windows Update > [自動更新を構成する] > [無効] に設定されている	<input type="checkbox"/>
Windows Update サービスの停止	コンピューターの管理 > サービスとアプリケーション > サービス > [Windows Update] > スタートアップの種類が [無効] に設定されている	<input type="checkbox"/>
セキュリティに関するメッセージの設定	コントロール パネル > システムとセキュリティ > セキュリティとメンテナンス [ユーザー アカウント制御] と [Windows トラブルシューティング] 以外のチェックを外す	<input type="checkbox"/>
コンピューター名とワークグループ	コントロール パネル > [システムとセキュリティ] > [システム] [コンピューター名] と [ワークグループ] が、記号を除く半角英数字の組み合わせで登録されている	<input type="checkbox"/>
ドキュメントフォルダの場所	ドキュメント フォルダが既定の場所に設定されている	<input type="checkbox"/>
電源プラン	コントロール パネル > [システムとセキュリティ] > [電源オプション] > 電源プランを [高パフォーマンス] で作成して、[ディスプレイの電源を切る] と [コンピューターをスリープ状態にする] を [適用しない] に設定されている	<input type="checkbox"/>
日付と時刻	コントロール パネル > [時計、言語、および地域] > [日付と時刻の設定] 日時が正しくない場合は、[日付と時刻の変更] ボタンをクリックして修正	<input type="checkbox"/>
	コントロール パネル > [時計、言語、および地域] > [日付、時刻または数値の形式の変更] > [時刻 (短い形式)] を「H:mm」にして、[時刻 (長い形式)] を「H:mm:ss」に設定	<input type="checkbox"/>
システム音量	タスクトレイのスピーカーアイコンをクリック > [ミュートスピーカー] ボタンをクリック	<input type="checkbox"/>
拡張子の表示	コントロール パネル > デスクトップのカスタマイズ > エクスプローラーのカスタマイズ [表示] タブ > [登録されている拡張子は表示しない] のチェックを外す	<input type="checkbox"/>
通知とアクションの設定	スタート> 設定 > システム > 通知とアクション [ロック画面に通知を表示する] を [オフ] にする	<input type="checkbox"/>
ディスプレイの設定	スタート> 設定 > システム > ディスプレイ [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] を 100%にする	<input type="checkbox"/>
プリンターの設定	スタート> 設定 > デバイス > プリンターとスキャナー 印刷に使用するプリンターが設定されていることを確認	<input type="checkbox"/>
Xbox Game Bar の無効化	Xbox Game Bar をオフにしている	<input type="checkbox"/>
3D Objects フォルダー	3D Objects フォルダーが表示されている	<input type="checkbox"/>

9.3. Office アプリケーションの設定

項目		確認内容	✓		
インストールの確認		Cドライブに完全インストールされている	<input type="checkbox"/>		
		ライセンス認証が完了している	<input type="checkbox"/>		
Office の更新	365	Microsoft 365/Office 2021 のバージョンが Version 2408 になっている	<input type="checkbox"/>		
	2019	Office Professional Plus 2019 のバージョンが Version 1808 になっている	<input type="checkbox"/>		
		Office Professional 2019 のバージョンが Version 1908 になっている	<input type="checkbox"/>		
	2016	Office Professional Plus 2016 ・バージョンが「16.0.4266.1001」になっている ・KB4011681 (Word 用) が適用されている ・KB4011684 (Excel 用) が適用されている	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		
		Office Professional 2016 のバージョンが「16.0.7571.2109」になっている	<input type="checkbox"/>		
データの保存先、 ユーザー名の確認		ユーザー名が入力されている (スペースのみは、半角全角とも NG)	<input type="checkbox"/>		
		各アプリケーションの保存先に、現在ログインしている OS のユーザーアカウントが表示されている	<input type="checkbox"/>		
		Word	<input type="checkbox"/>	Excel	<input type="checkbox"/>
		Access	<input type="checkbox"/>	PowerPoint	<input type="checkbox"/>
Outlook の設定		メールアカウントを設定せずに使用する設定を済ませている	<input type="checkbox"/>		

9.4. Adobe Creative Cloud の設定

項目		確認内容	✓
インストールの確認		Cドライブにサポートバージョンがインストールされている	<input type="checkbox"/>
環境設定		Creative Cloud Desktop の [ログイン時に Creative Cloud を起動] の設定がオフになっている	<input type="checkbox"/>
		アプリケーションの自動更新がオフになっている	<input type="checkbox"/>

9.5. その他の設定

項目	確認内容	✓
不要なソフトウェアの削除、停止	模擬試験ソフトや講座用ツールは削除、または停止している	<input type="checkbox"/>
	セキュリティソフトは削除、または停止している	<input type="checkbox"/>
	設定を初期化するツールやソフトウェアは削除、または停止している	<input type="checkbox"/>
COM アドインの停止	不要な COM アドインは削除、または停止している	<input type="checkbox"/>
既定のプログラムの設定	Outlook が既定のプログラムとして設定されている	<input type="checkbox"/>
	Google Chrome または Microsoft Edge が既定のプログラムとして設定されている ※Odyssey CBT 試験を同じマシンで実施する場合は必ず Google Chrome を規定にしてください。	<input type="checkbox"/>
IME ツールバーの設定	IME ツールバーが、タスクバーに固定されている	<input type="checkbox"/>
Adobe Acrobat Reader	最新版がインストールされている	<input type="checkbox"/>
	メニューバー> [環境設定]> 左メニュー [分類] の [インターネット]> [デフォルトで閲覧モードで表示] のチェックを外す	<input type="checkbox"/>
	メニューバー> [環境設定]> 左メニュー [分類] の [セキュリティ (拡張)]> [起動時に保護モードを有効にする] のチェックを外す	<input type="checkbox"/>
Google Chrome	メニュー> [設定]> [自動入力とパスワード]> [お支払い方法]> [お支払い方法の保存と入力] がオフになっている	<input type="checkbox"/>
	メニュー> [設定]> [自動入力とパスワード]> [住所やその他の情報]> [住所の保存と入力] がオフになっている	
	メニュー> [設定]> [プライバシーとセキュリティ]> [サイトの設定]> [その他のコンテンツの設定]> [デバイス上のサイトデータ]> [すべてのウィンドウを閉じるときに、サイトによりデバイスに保存されたデータを削除する] がオンになっている	
Microsoft Edge	メニュー> [設定]> [プライバシー、検索、サービス]> [閲覧データをクリア]> [ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを削除する] から [Cookie およびその他のサイト データ] [パスワード] [オートフィル フォーム データ (フォームやカードを含む)] がオンになっている	<input type="checkbox"/>
.NET Framework	コントロールパネル > [プログラムのアンインストール]> [Windows の機能の有効化または無効化] > をクリック [.NET Framework 4.8 Advanced Services] のチェックボックスが「■」になっていることを確認	<input type="checkbox"/>
OneDrive のリンク解除	OneDrive のリンクが解除されている	<input type="checkbox"/>
標準設定バッチの作成	標準設定バッチファイルを作成している	<input type="checkbox"/>

9.6. Compass の設定

項目	確認内容	✓
試験会場の設定とアップデート	試験会場名と試験会場 ID が正しく表示されている	<input type="checkbox"/>
	更新のタイミングが「手動」に設定されている	<input type="checkbox"/>
	更新が適用されている	<input type="checkbox"/>
試験のダウンロード	「試験の管理」画面に実施する試験が表示されている	<input type="checkbox"/>
結果レポートの印刷	試験結果レポートを表示・印刷できる	<input type="checkbox"/>